



No. 3
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和2年度第1回

大阪港北港南地区 国際海上コンテナターミナル整備事業

【再評価】

令和2年5月
近畿地方整備局

新型コロナウイルス対策に伴う工事等の一時中止による
コスト、工期への影響は考慮していない

目次

1. 事業全体図	1
2. 事業概要	2
3. 事業計画の見直し	3
4. 事業の必要性等に関する視点	4
5. 事業進捗の見込みの視点	11
6. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点	12
7. 関係自治体の意見	13
8. 対応方針(原案)	14

1. 事業全体図

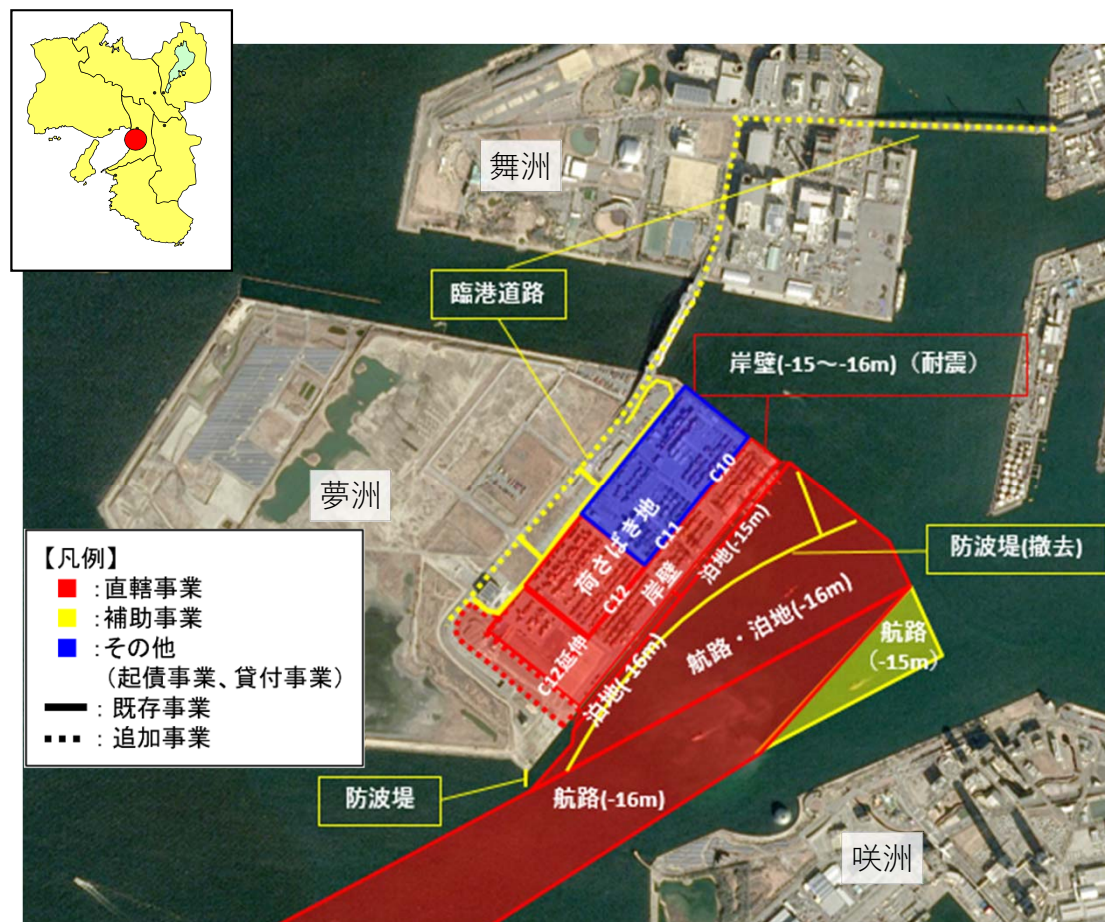
■ 整備目的

- 今後のコンテナ貨物の増加及び船舶の大型化に対応するため、北港南地区(夢洲)に大水深連続バースを有する高規格コンテナターミナルを整備し、既存の南港地区(咲洲)より物流機能の一部を北港南地区へ移転することで物流を効率化。
- 臨港道路の拡幅により、増大するコンテナ貨物輸送に対応するとともに、夢洲における今後の開発に伴う交通量の増大にも対応し、大阪・関西地域の経済成長を支援。
- 大規模地震発生時における幹線貨物輸送拠点となる耐震強化岸壁を整備し、経済活動を維持。

(単位：億円)

事業区分	施設名	事業期間	事業費
直轄事業	岸壁(-15m)(耐震)【C10】	H3 ~ H12	121
	岸壁(-15m)(耐震)【C11】	H21 ~ R8	194
	岸壁(-16m)(耐震)【C12】	H17 ~ H20	154
	岸壁(-16m)【C12延伸部】	H25 ~ R1	141
	航路・泊地等(-15m)	H4 ~ H27	29
	航路・泊地等(-16m)	H19 ~ R8	817
	荷さばき地	H24 ~ R7	349
補助事業		H4 ~ R10	185
その他(貸付事業、起債事業等)		H3 ~ R5	346
合計			2,335

※ ■ 変更箇所

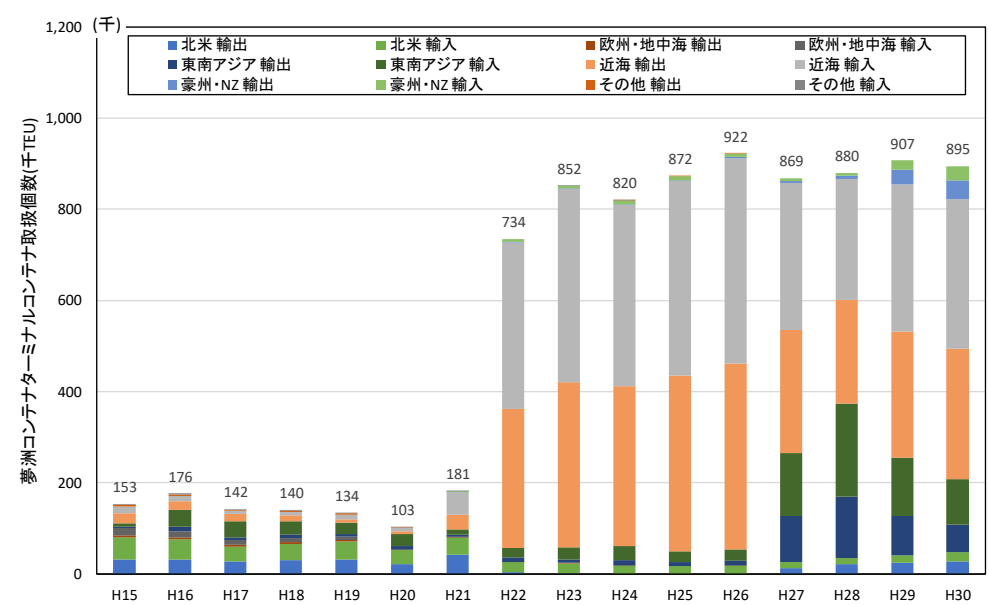


2. 事業概要

■外貿コンテナ貨物の需要増加とターミナルの利用状況(事業を巡る社会経済情勢等の変化)

- 大阪港の外貿コンテナ貨物の取扱量は順調に伸び、近年は現況コンテナターミナル取扱能力である約2,000千TEU^{*}前後を推移。
- 北港南地区(夢洲)では、平成21年(2009年)10月から本格稼働しているが、コンテナ取扱貨物量は、900千TEU前後で推移。
- 北港南地区(夢洲)を利用するコンテナ船隻数は増加しており、平成30年(2018年)の寄港隻数は1,627隻。
- 今後の貨物量の増加や船舶の大型化に対応するため、夢洲における荷さばき地の拡張と臨港道路の拡幅が喫緊の課題。

北港南地区における外貿コンテナ取扱個数の推移



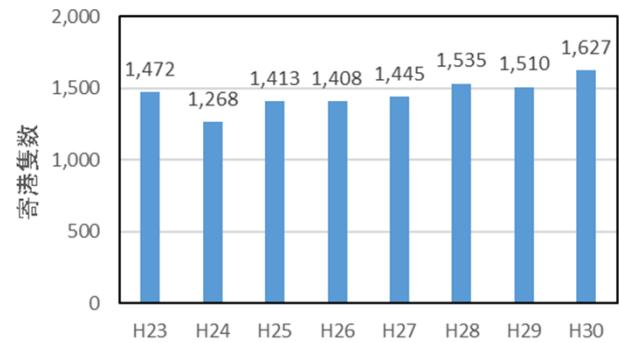
北港南地区(C10~C12)の利用状況



大阪港振興協会(撮影:脇森茂隆氏)提供

- 平成21年10月に夢洲で連続3バースの運用開始を契機として、咲洲から夢洲に国際コンテナ航路の一部移転など、大阪港におけるふ頭再編が進展した。
- 夢洲では、取扱貨物量がターミナル能力に達していることから、近年はほぼ横ばいで推移している。
- 増大するコンテナ需要に対応するため、荷さばき地の拡張が喫緊の課題である。

北港南地区のコンテナ船隻数の推移



ターミナル内の混雑状況



2020/4/27(月)撮影

^{*} TEU(Twenty-foot Equivalent Units)とは、長さ20フィートのコンテナ1本を1個としてカウント(長さ40フィートのコンテナ1本を2個としてカウント)。

3. 事業計画の見直し

【事業見直しの内容】

港湾計画の改訂(H31. 3)

- 取扱貨物量の増加や船舶の大型化に対応し、より一層の国際競争力強化を図るとともに、外航航路と内航航路との接続機能の強化にも繋げるため、ふ頭用地(荷さばき地)の計画規模を拡大する。

※取扱能力(夢洲): 124万TEU → 141万TEU

(近年のコンテナ貨物取扱量の増加、貿易構造の変化等を踏まえ、東南アジア航路の貨物量の増加等を見込んだ)

- 北港南地区(夢洲)の港湾と背後地を円滑に結ぶための臨港道路について、推計交通量の増加により、此花大橋などの拡幅工事を新規追加する。

【事業費の増額】

全体事業費 2,186億円 → 2,335億円

(149億円の増: 荷さばき地拡張、臨港道路拡幅等)

【事業期間】

H3~R8 → H3~R10



【凡例】

- : 直轄事業
- : 補助事業
- : その他
(起債事業、貸付事業)
- : 関連事業

実線: 既存事業
破線: 追加事業

4. 事業の必要性等に関する視点

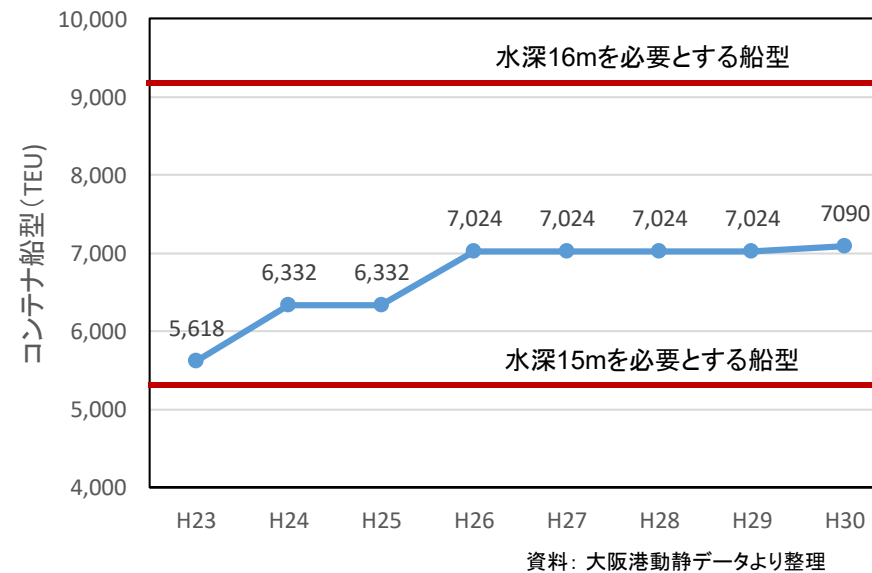
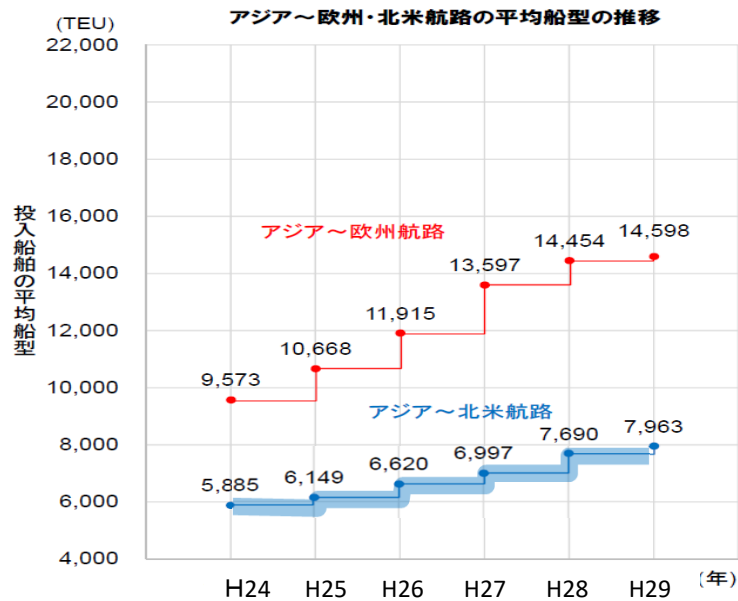
(1) 事業を巡る社会情勢等の変化

(ア) 船舶大型化の進展

- 経済のグローバル化が進展し、アジア～欧米間の海上輸送量が増加する中で、国際基幹航路（欧州航路、北米航路）を中心として世界的なコンテナ船の大型化が益々進展している。
- 大阪港に寄港するコンテナ船型についても大型化しており、既に水深15m以上の岸壁を必要とするコンテナ船が、コンテナの積載量を調整するなどして入港しているため、大水深岸壁を有する高規格コンテナターミナルの整備が急務となっている。

コンテナ船の最大船型の推移

大阪港に寄港する最大コンテナ船型の推移



(イ) 港湾物流増加に伴う自動車交通の対応

- 円滑な港湾活動のためには、港湾と背後地を円滑に結ぶ道路ネットワークの構築が不可欠であるが、現状では夢洲のコンテナターミナルに繋がる臨港道路において、断続的にコンテナ積載トレーラーの滞留が発生している。
- 増大するコンテナ需要に伴い、此花大橋をはじめとする背後の臨港道路の推計交通量が増加し、車線数の追加が必要となる見通し。

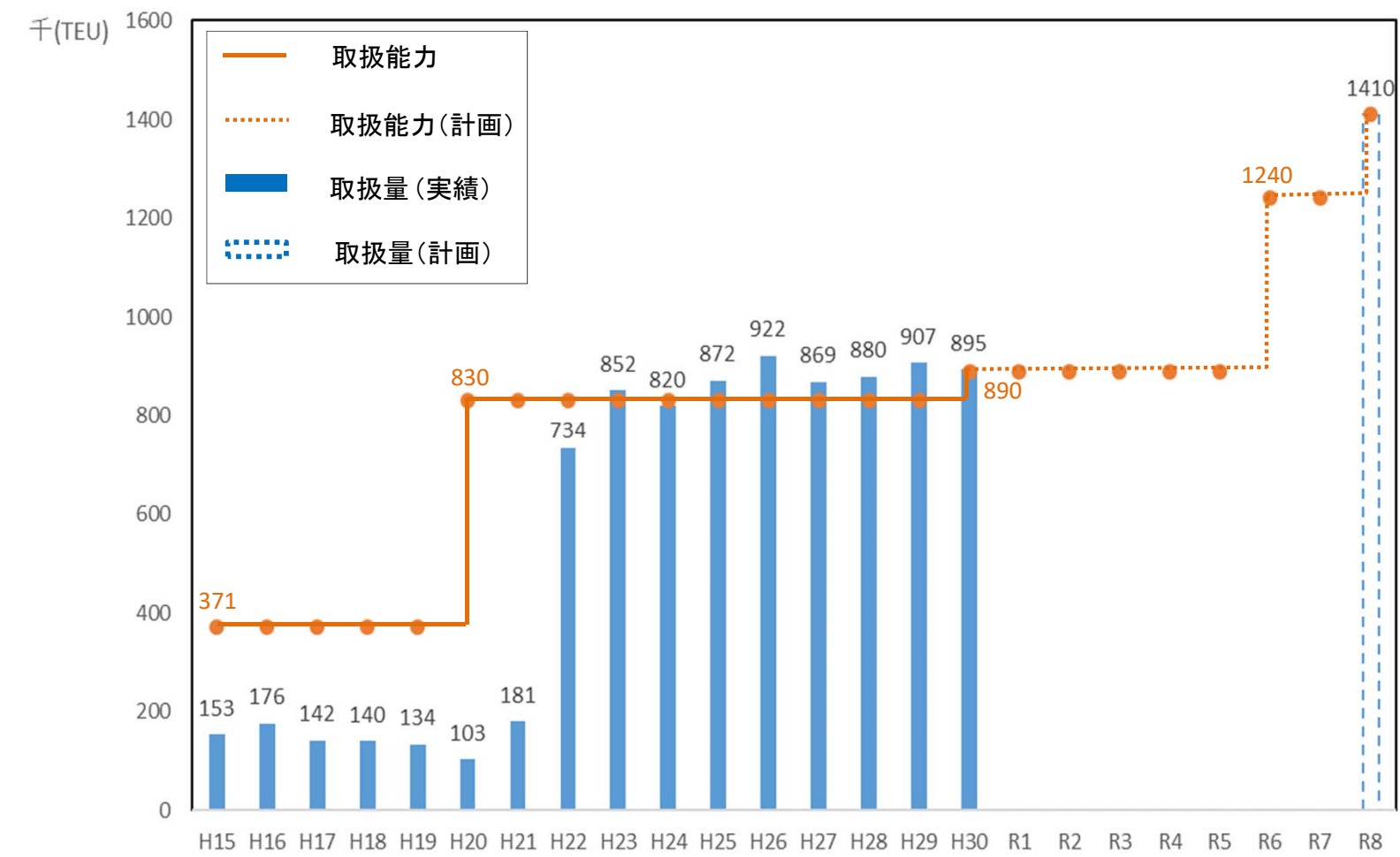


4. 事業の必要性等に関する視点

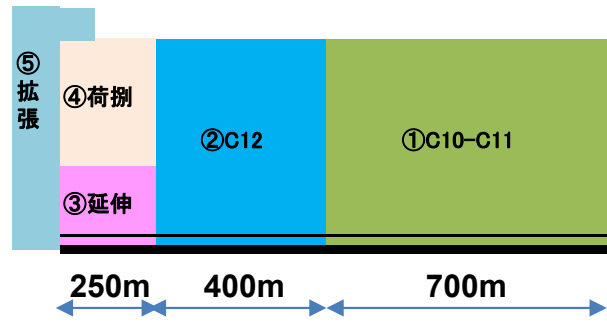
(ウ) 増大するコンテナ需要への対応【荷さばき地の拡張】

- 平成31年3月に大阪港の港湾計画が改訂され、増大するコンテナ貨物の需要に対応するため、北港南地区(夢洲)においてもコンテナ取扱量の拡大が位置づけられた。
- 平成23年頃より北港南地区(夢洲)ではコンテナ貨物の取扱能力に達しているため、年間取扱貨物量は頭打ちの状態。
- 北港南地区(夢洲)におけるコンテナ貨物の取扱能力を向上させるためにはコンテナの蔵置・受け渡し等を行う荷さばき地の拡張が必要である。

外貿コンテナ取扱個数の推移(夢洲)



【夢洲コンテナターミナル模式図】



整備範囲	取扱能力	対象時期
①C10-C11	371千TEU	~H19
①~②C10-C12	830千TEU	H20~H29
①~③C10-C12延伸	89千TEU	H30~R5
①~④C10-C12延伸部 荷捌	1240千TEU	R6~R7
①~⑤C10-C12拡張	1410千TEU	R8~

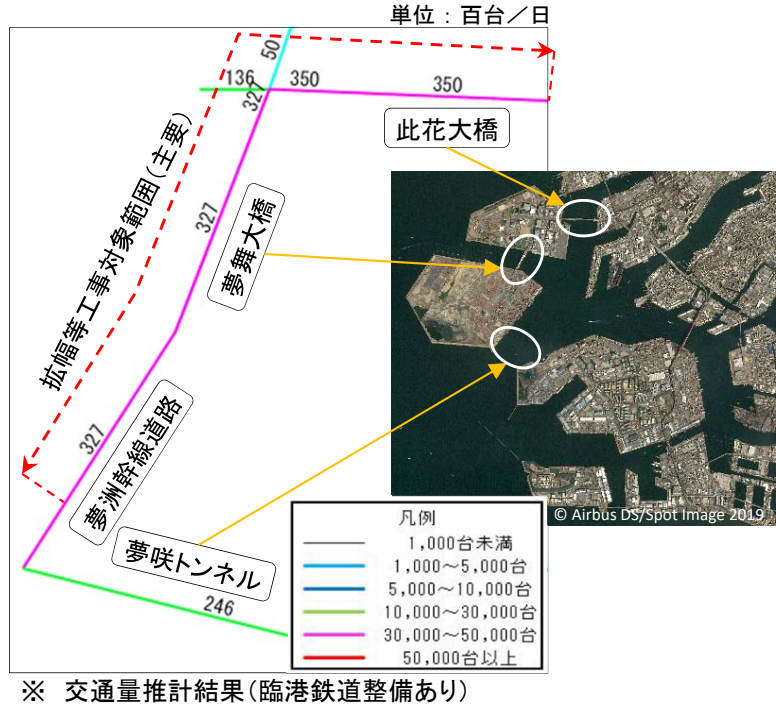
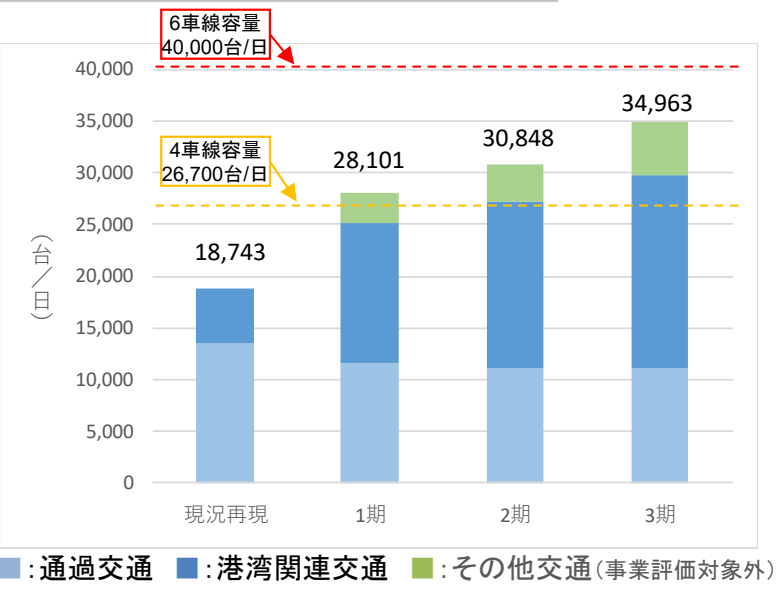
(注) 荷さばき地の拡張によりターミナルの混雑が緩和され、ゲート前及びターミナル内でのトレーラの待ち時間の減少等の便益が見込まれるが、今評価では定量的な便益としては計上しない

4. 事業の必要性等に関する視点

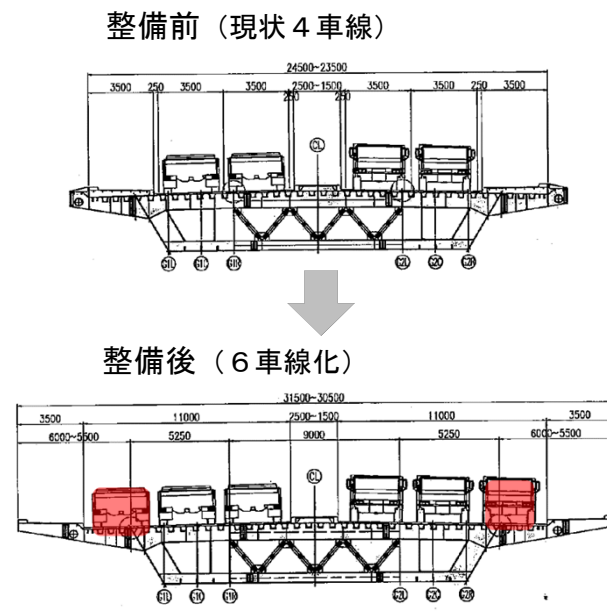
(エ) 国際観光拠点の開発及び2025日本国際博覧会の開催による港湾物流への影響

- 夢洲では、都市と近接した広大な用地及びオーシャンフロントという非日常空間を創出できる立地を活かした国際観光拠点を形成するための取り組みが進められており、大阪の経済成長の起爆剤となることが期待されている。
- 国際観光拠点の形成にあたっては、バス交通ネットワークの形成を図り、海上交通ネットワークの形成に努めることで、周辺道路の渋滞対策を行うこととされているものの、背後地域との円滑な港湾物流機能の確保のためには、港湾計画に沿った臨港道路の整備拡充が急務である。

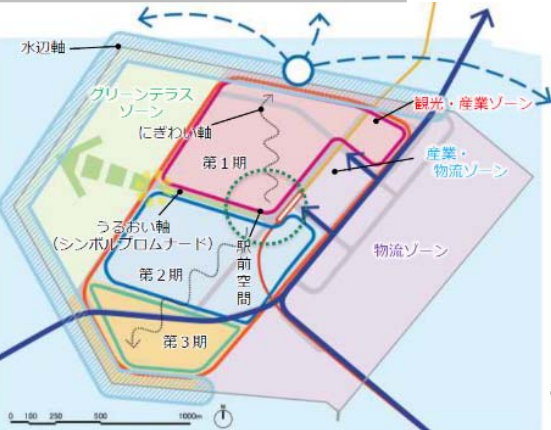
此花大橋における交通需要の推移



標準断面図 (此花大橋)



国際観光拠点整備イメージ



まちづくりの効果

- 第1期：約1,500万人/年
- 第2期：約2,700万人/年
- 第3期：約3,000万人/年



2025年大阪・関西万博の計画概要 (参考)

※2017/9/25提出「ビッド・ドシエ(立候補申請文書)」及び(公社)2025年日本国際博覧会協会HPより
開催概要
 開催期間 2025年4月13日～10月13日(184日間)
 想定来場者数 約2,800万人
 (国内来場者数 2,470万人
 海外からの来場者数 350万人)
 経済波及効果(試算値) 約2兆円

※2017/9/25提出「ビッド・ドシエ(立候補申請文書)」及び(公社)2025年日本国際博覧会協会HPより



(注) 臨港道路の拡張により交通渋滞の発生が抑制され、「万博来場に関する忌避感の回避」等の便益が想定されるが、今評価で万博関連は便益として計上しない。

4. 事業の必要性等に関する視点

(2) 事業の整備効果

海外トランシップ^{※1}回避による輸送コスト削減(基幹航路)等

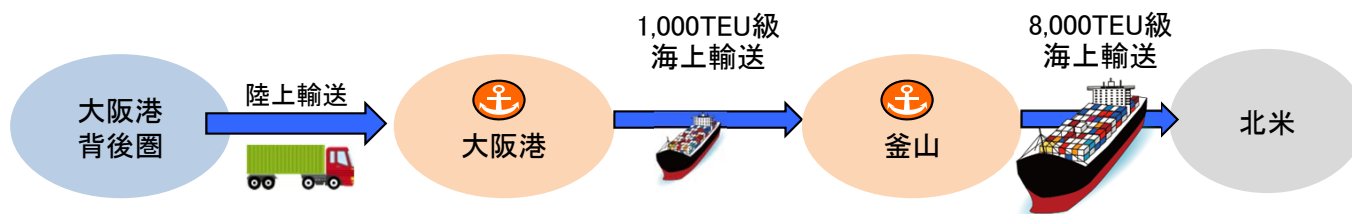
※1 海外トランシップとは、日本発着のコンテナ貨物の内、アジア主要港で積み替えられて諸外国へ又は諸外国から輸送される貨物

■ 本プロジェクトの実施により、外貿コンテナ貨物(北米航路)の海外トランシップが回避され、海上輸送コストを削減できる。
【参考(定性的な効果)】

- ・ 国際基幹航路の我が国への寄港を維持・拡大による輸送効率の向上等により、産業の国際競争力の向上や、地域産業の安定・発展、地域活力の強化が図られる。
- ・ 海外トランシップが回避されることにより、物流コストの増加、輸送時間の増大、貨物の積み換えに伴う貨物の損傷が回避される。また、海上コンテナ輸送の定時性が向上する。

● 外貿コンテナ貨物(北米航路)の輸送形態イメージ

大水深岸壁を整備しなかった場合 (Without)



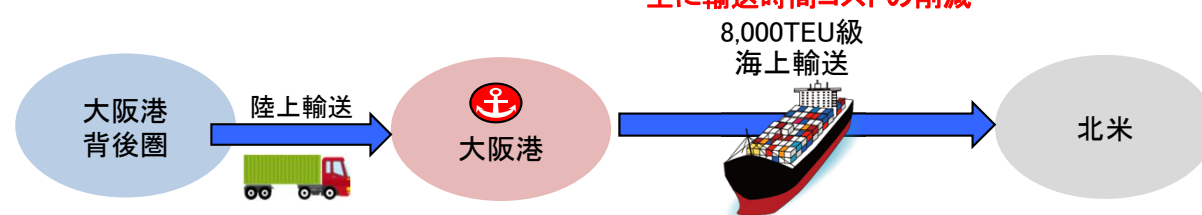
・コンテナ船舶が大型化している。
・本プロジェクトの実施により、大型コンテナ船の寄港が可能となり、釜山トランシップが回避されることで海上輸送コストを削減することが可能。

輸送コスト削減便益
117億円/年^{※2}

※前回(H28)評価時 95億円/年

※2 便益額は、コンテナ詰取場所が近畿2府4県の貨物を対象に推計

大水深岸壁を整備した場合 (With)



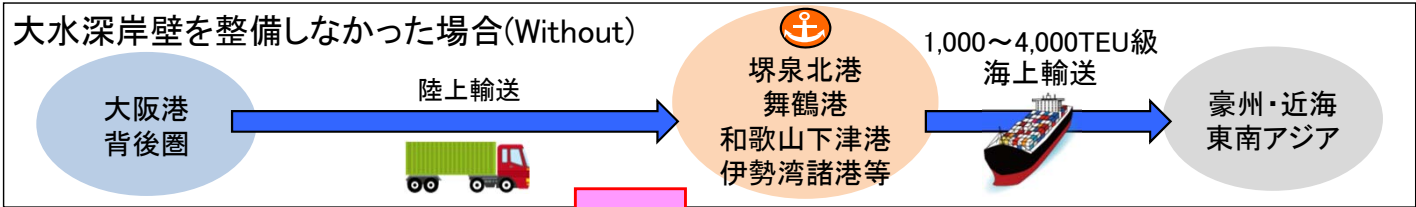
北港南地区の岸壁(C11)利用状況(H26.9)

4. 事業の必要性等に関する視点

陸上輸送コスト削減(その他航路)

■ 本プロジェクトの実施により、大阪港背後圏の外貿コンテナ貨物需要の増大に対応でき、陸上輸送コストを削減。

● 外貿コンテナ貨物(その他航路)の輸送形態イメージ



・阪神港における外貿コンテナ貨物の取扱能力が限界に達している。
 ・本プロジェクトの実施により、代替港である堺泉北港、伊勢湾諸港等までの陸上輸送コストを削減することが可能。



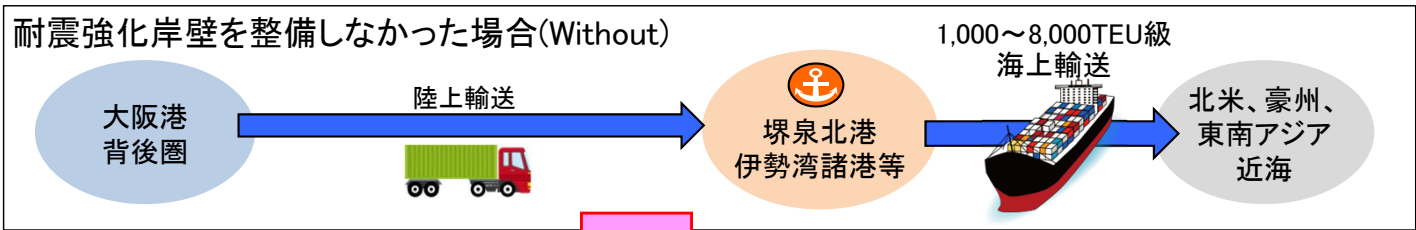
輸送コスト削減便益
 607億円/年^{※1}
 ※前回(H28)評価時 536億円/年

※1 便益額は、コンテナ詰取出場所が近畿2府4県の貨物を対象に推計

震災直後の陸上輸送コスト削減(コンテナ貨物)

■ 本プロジェクトの実施により、大規模地震発生時のコンテナ貨物の取扱いが可能となり、代替港利用による輸送コスト増大を回避。

● 大規模地震発生時の輸送形態イメージ ※費用対効果検討時使用地震:南海トラフ沿いで発生する大地震(南海・東南海・想定東海地震:マグニチュード8.0~8.4)



・大規模地震発生時も外貿コンテナ貨物を本プロジェクトで取り扱うことが可能。
 ・本プロジェクトが整備されなかった場合、伊勢湾諸港等までの陸上輸送が必要となる。



輸送コスト削減便益
 42億円/年(R9年)^{※2}
 ※前回(H28)評価時 34億円/年(R11年)

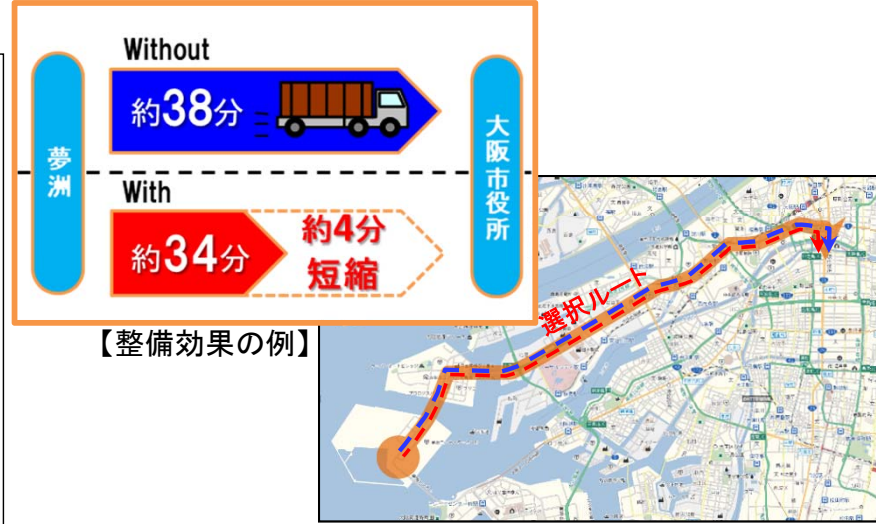
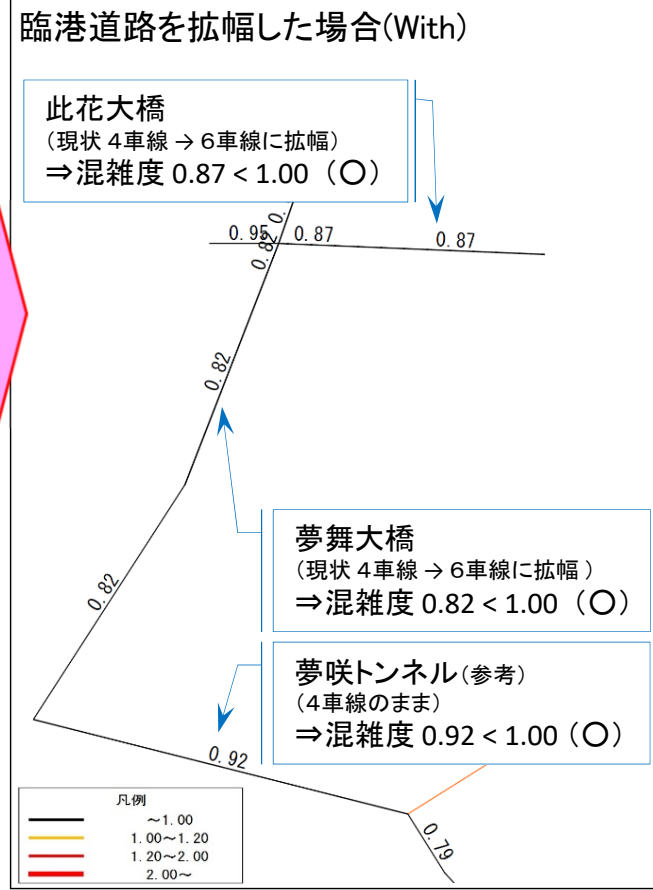
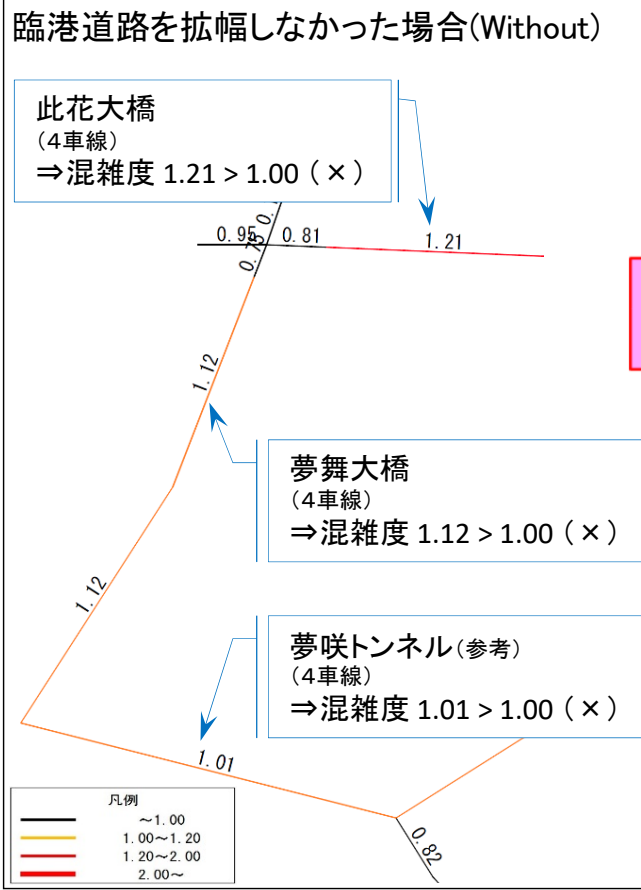
※2 地震発生確率考慮後の単年度のコスト増回避の最大額便益額は、コンテナ詰取出場所が近畿2府4県の貨物を対象に推計

4. 事業の必要性等に関する視点

輸送コスト削減(臨港道路)

■ 本プロジェクト(既設臨港道路の拡幅)の実施により、夢洲と大阪市内をはじめとした背後地とを結ぶ自動車交通が円滑になり、輸送時間を短縮及び輸送費用を削減。

● 道路の混雑度のイメージ(各区間の交通量の推計結果の例)



- ・コンテナ需要が増大、国際観光拠点の形成による夢洲への観光交通の大幅な増加が予想。
- ・本プロジェクトの実施により、増加する交通需要に対応し、港湾物流の円滑化を図ることで、輸送費用の削減、輸送・移動時間の短縮、交通事故損失の削減が可能。

自動車交通の円滑化効果

4. 4億円/年 ※1, 2

輸送費用便益	: 0.30億円/年
輸送時間費用便益	: 3.94億円/年
事故損失額削減便益	: 0.16億円/年

貨幣換算しない効果

(定量的な効果)

- 臨港道路の整備による交通円滑化により、自動車排出ガスの減少が図られる。
CO₂: 163t/年 NO_x: 3.6t/年

※1 便益額(効果)は、With時とWithout時のそれぞれについて、各区間の交通量・旅行速度の推計結果を用いて算出した輸送費用、輸送時間費用及び事故損失額(事故損失削減額)の合計の差
 ※2 便益額には、夢洲の都市機能用地から発生する自動車交通分を含まない。

4. 事業の必要性等に関する視点

(3) 事業の投資効果

■便益(B)
 「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル」(平成29年3月 国土交通省港湾局)に基づき、「輸送コストの削減」、「震災後の輸送コストの削減」、「自動車交通の円滑化」、「残存価値」について、本プロジェクトの整備の有無それぞれについて推計し算出。

■費用(C)
 本プロジェクト整備に係る総事業費および運営管理費を算出。

■ 事業全体

便益(B)	輸送コスト削減便益	震災後の輸送コスト削減便益	自動車交通の円滑化便益	残存価値	総便益	費用便益比(B/C)
	19,876億円	534億円	72億円	139億円	20,621億円	
費用(C)	総費用(総事業費+運営管理費)					5.4
	3,848億円					

■ 算出条件等

- ・基準年 : 令和2年度
- ・検討期間 : 供用開始後50年間
- ・現在価値算出のための社会的割引率: 4%
- ・推計に用いた資料 : 港湾統計
- ・適用した費用便益分析マニュアル: 平成29年3月版
- ・事業費 : 2,335億円
- ・運営管理費 : 4.24億円/年

■ 前回の便益からの変更概要(参考)

前回評価時(H28)の便益額

輸送コスト削減便益	震災後の輸送コスト削減便益	自動車交通の円滑化便益	残存価値	B/C
14,156億円	389億円	-	89億円	4.9
総費用(総事業費+運営管理費) 3,007億円				

- 【前回評価時(H28)からの便益増加の主な要因】
- ・近年のコンテナ貨物量の増加、貿易構造の変化等を踏まえ、大阪港における将来貨物量の想定を見直し(増加)
 - ・近隣の代替港(堺泉北港、舞鶴港等)の貨物取扱能力の制約により、伊勢湾港等を利用すると見込む貨物量が増加
 - ・増加するコンテナ貨物量に伴い、周辺の交通量も増加することから、臨港道路の拡幅を新規追加したことに伴い、自動車交通の円滑化便益を新たに追加

■ 残事業

便益(B)	輸送コスト削減便益	震災後の輸送コスト削減便益	自動車交通の円滑化便益	残存価値	総便益	費用便益比(B/C)
	4,621億円	534億円	72億円	55億円	5,283億円	
費用(C)	総費用(総事業費+運営管理費)					7.7
	684億円					

※1 便益・費用については、現在価値化した値である
 ※2 便益・費用の合計値については、表示桁数の関係で計算値と一致しない場合がある
 ※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

5. 事業進捗の見込みの視点

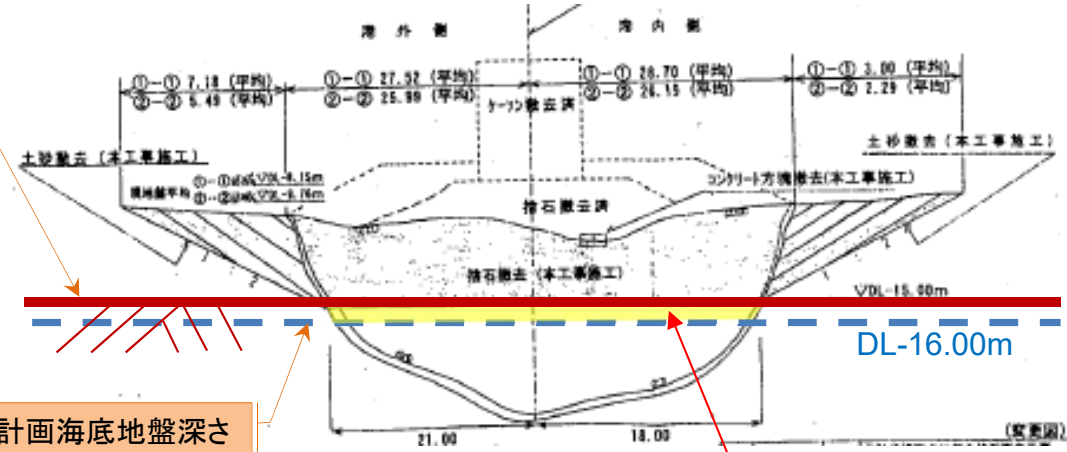
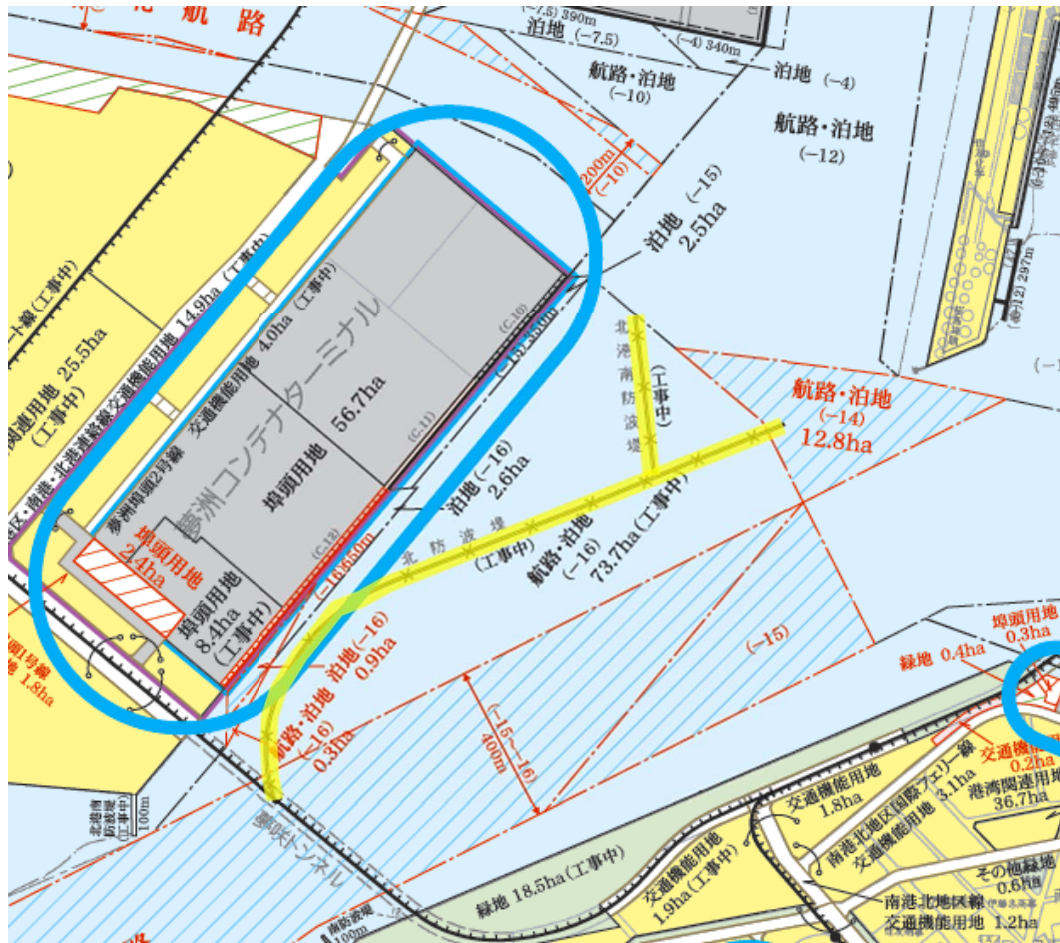
- 岸壁部分は、総延長1,350mの整備が概ね完了しており、水深15mで暫定供用を行っている。
- プロジェクト全体では74%まで事業が進んでいる。
- 残事業についても令和10年度完成に向け、事業進捗を図る。



事業区分	事業期間	事業費	残事業費	進捗率
直轄事業	H3 ~ R8	1,804 億円	506 億円	72%
補助事業	H4 ~ R10	185 億円	64 億円	66%
その他 (貸付事業、起債事業等)	H3 ~ R5	346 億円	45 億円	87%
合計		2,335 億円	615 億円	74%

6. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

■ 今後実施する浚渫（海底掘削）工事において、旧防波堤の基礎捨石の撤去を予定しており、その処理に関して有効活用に向けた調整を行い、破碎・処分にかかる費用の低減を図る。



計画海底地盤深さ (-16m)

航路・泊池には、過去に撤去された北防波堤の基礎捨石が海底にあり、水深-16mを確保する際に撤去が必要。

(想定数量)
約 80,000 m³



▲ (参考) 過去の捨石撤去状況写真

7. 関係自治体の意見

■ 大阪市長

令和2年5月21日付 大港湾第222号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

大阪港北港南地区国際海上コンテナターミナル整備事業は、国際コンテナ戦略港湾の選定を受けた大阪港においては重要な事業であり、事業継続が妥当と考えます。

今後の事業実施にあたっては、十分な予算を確保し速やかな事業進捗を図るとともに、引き続き、最大限のコスト縮減と工期短縮の徹底や残事業の精査をお願いします。

8. 対応方針(原案)

1. 事業の必要性等に関する視点

- 本プロジェクトの実施により、増大するコンテナ需要への対応が可能となり、また海外トランシップの回避等が図られることで輸送コストの削減が図られる。
- 本プロジェクトの実施により、港湾物流交通に加えIRや万博の観光交通にも対応し、円滑な交通を確保することで、道路交通に関する輸送コストの削減が図られる。
- 本プロジェクトの実施により、大規模地震発生時に輸送コスト増大が回避される。
- 費用便益比(B/C)は、全体事業で5.4、残事業で7.7である。

2. 事業進捗の見込みの視点

- 岸壁部分は、総延長1,350mの整備が概ね完了しており、水深15mで暫定供用を行っている。
- 引き続き、岸壁(-16m)(C12延伸部)の背後及び拡張部の荷捌き地、航路(-16m)並びに臨港道路等についても着実に整備を行い、事業進捗を図る予定。



大阪港北港南地区国際海上コンテナターミナル整備事業は、事業の必要性等に関する視点、事業進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。
引き続き事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である。

事業継続



No. 3-2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和2年度第1回

大阪港北港南地区 国際海上ターミナル整備事業

【再評価】

(計算結果等参考資料)

令和2年5月

近畿地方整備局

大阪港北港南地区 国際海上コンテナターミナル整備事業費用対効果分析【需要-10%】

費用便益分析シート(割引前)

Table with columns: 年度, 施設供用期間, 初期投資・更新投資, 運営・維持コスト, 総費用(C), 輸送コストの削減, 海外TS回遊便益, 震災時輸送コストの削減, 臨港道路の輸送コストの削減等, 残存価値, 総便益(B), 純便益(B-C). Rows include years from 1991 to 2067 and a total row.

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 13.2% NPV= 15,245 億円 B/C= 5.0

Table with columns: 年度, 施設供用期間, 社会的割引率, 初期投資・更新投資, 運営・維持コスト, 総費用(C), 輸送コストの削減, 海外TS回遊便益, 震災時輸送コストの削減, 臨港道路の輸送コストの削減等, 残存価値, 総便益(B), 純便益(B-C). Rows include years from 1991 to 2067 and a total row.

大阪港北港南地区 国際海上コンテナターミナル整備事業費用対効果分析【事業費+10%】

費用便益分析シート(割引前)

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 13.4% NPV= 16,695 億円
B/C= 5.3

Table with columns: 年度, 施設供用期間, 初期投資・更新投資, 運営・維持コスト, 総費用(C), 輸送コストの削減, 海外TS回避便益, 震災時輸送コストの削減, 臨港道路の削減等, 残存価値, 総便益(B), 純便益(B-C). Rows include years from 1991 to 2067 and a total row.

Table with columns: 年度, 施設供用期間, 社会的割引率, 初期投資・更新投資, 運営・維持コスト, 総費用(C), 輸送コストの削減, 海外TS回避便益, 震災時輸送コストの削減, 臨港道路の削減等, 残存価値, 総便益(B), 純便益(B-C). Rows include years from 1991 to 2067 and a total row.

大阪港北港南地区 国際海上コンテナターミナル整備事業費用対効果分析【事業費-10%】

費用便益分析シート(割引前)

Table with columns: 年度, 施設供用期間, 初期投資・更新投資, 運営・維持コスト, 総費用(C), 輸送コストの削減, 海外TS回避便益, 震災時輸送コストの削減, 臨港道路の輸送コストの削減等, 残存価値, 総便益(B), 純便益(B-C). Rows show annual data from 1991 to 2067 and a total row.

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 13.5% NPV= 16,851億円
B/C= 5.5

Table with columns: 年度, 施設供用期間, 社会的割引率, 初期投資・更新投資, 運営・維持コスト, 総費用(C), 輸送コストの削減, 海外TS回避便益, 震災時輸送コストの削減, 臨港道路の輸送コストの削減等, 残存価値, 総便益(B), 純便益(B-C). Rows show annual data from 1991 to 2067 and a total row.

大阪港北港南地区 国際海上コンテナターミナル整備事業費用対効果分析【建設期間+10%】

費用便益分析シート(割引前)

Table with columns: 年度, 施設供用期間, 初期投資・更新投資, 運営・維持コスト, 総費用(C), 輸送コストの削減, 海外TS回避便益, 震災時輸送コストの削減, 臨港道路の輸送コストの削減等, 残存価値, 総便益(B), 純便益(B-C). Rows include years from 1991 to 2067 and a total row.

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 13.4% NPV= 16,510 億円 B/C= 5.3

Table with columns: 年度, 施設供用期間, 社会的割引率, 初期投資・更新投資, 運営・維持コスト, 総費用(C), 輸送コストの削減, 海外TS回避便益, 震災時輸送コストの削減, 臨港道路の輸送コストの削減等, 残存価値, 総便益(B), 純便益(B-C). Rows include years from 1991 to 2067 and a total row.

大阪港北港南地区 国際海上コンテナターミナル整備事業費用対効果分析 残事業

費用便益分析シート(割引前)

年度	施設供用期間	割引前									
		初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	輸送コストの削減	海外TS回避便益	震災時輸送コストの削減	臨港道路の輸送コストの削減等	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2021	3	81.6	2.2	83.8							-83.8
2022	4	94.1	2.4	96.5			0.6		0.6		-95.9
2023	5	116.2	2.4	118.6			0.6		0.6		-118.0
2024	6	109.6	3.1	112.6	121.1	42.5	16.9	1.5	182.0	69.4	
2025	7	107.3	3.4	110.8	121.1	42.5	17.1	2.2	182.8	72.1	
2026	8	65.2	3.6	68.8	165.0	81.7	22.4	3.6	272.6	203.8	
2027	9	40.2	2.9	43.1	165.0	97.9	41.6	3.6	308.0	264.9	
2028	10	5.5	3.6	9.1	165.0	97.9	41.6	3.6	308.0	298.9	
2029	11		4.0	4.0	165.0	97.9	41.5	3.5	307.8	303.8	
2030	12		4.0	4.0	165.0	97.9	41.2	3.5	307.5	303.6	
2031	13		4.0	4.0	165.0	97.9	40.9	3.6	307.3	303.4	
2032	14		4.0	4.0	165.0	97.9	40.4	4.4	307.6	303.7	
2033	15	13.1	4.0	17.1	165.0	97.9	39.8	4.4	307.1	290.0	
2034	16		4.0	4.0	165.0	97.9	39.2	4.4	306.4	302.4	
2035	17	16.4	3.6	20.0	165.0	97.9	38.5	4.4	305.7	285.7	
2036	18	16.9	3.6	20.5	165.0	97.9	37.6	4.4	304.9	284.4	
2037	19	3.6	4.0	7.5	165.0	97.9	36.8	4.4	304.0	296.4	
2038	20		4.0	4.0	165.0	97.9	35.8	4.3	303.0	299.1	
2039	21	13.1	4.0	17.1	165.0	97.9	34.8	4.3	302.0	285.0	
2040	22	9.5	4.0	13.5	165.0	97.9	33.8	4.3	301.0	287.5	
2041	23		4.0	4.0	165.0	97.9	32.8	4.3	299.9	296.0	
2042	24		4.0	4.0	165.0	97.9	31.7	4.3	298.8	294.9	
2043	25		4.0	4.0	165.0	97.9	30.5	4.3	297.7	293.7	
2044	26		4.0	4.0	165.0	97.9	29.4	4.3	296.6	292.6	
2045	27		3.8	14.5	165.0	97.9	28.3	4.3	295.4	281.0	
2046	28	10.7	4.0	4.0	165.0	97.9	27.2	4.3	294.3	290.3	
2047	29		4.0	4.0	165.0	97.9	26.0	4.3	293.2	289.2	
2048	30	13.1	4.0	17.1	165.0	97.9	24.9	4.3	292.0	275.0	
2049	31		4.0	4.0	165.0	97.9	23.8	4.3	290.9	286.9	
2050	32		4.0	4.0	165.0	97.9	22.7	4.3	289.8	285.8	
2051	33		4.0	4.0	165.0	97.9	21.6	4.3	288.7	284.8	
2052	34	3.6	4.0	7.5	165.0	97.9	20.5	4.3	287.7	280.1	
2053	35	34.7	3.3	38.0	165.0	97.9	19.5	4.3	286.6	248.6	
2054	36	13.1	4.0	17.1	165.0	97.9	18.5	4.3	285.6	268.5	
2055	37	9.5	4.0	13.5	165.0	97.9	17.5	4.2	284.6	271.1	
2056	38		4.0	4.0	165.0	97.9	16.6	4.2	283.7	279.7	
2057	39		4.0	4.0	165.0	97.9	15.7	4.2	282.8	278.8	
2058	40		4.0	4.0	165.0	97.9	14.8	4.2	281.9	277.9	
2059	41		4.0	4.0	165.0	97.9	13.9	4.2	281.0	277.1	
2060	42		4.0	4.0	165.0	97.9	13.1	4.2	280.2	276.2	
2061	43	16.4	3.6	20.0	165.0	97.9	12.4	4.2	279.4	259.4	
2062	44	16.9	3.6	20.5	165.0	97.9	11.6	4.2	278.7	258.2	
2063	45	13.1	4.0	17.1	165.0	97.9	10.9	4.2	278.0	260.9	
2064	46		4.0	4.0	165.0	97.9	10.2	4.2	277.3	273.3	
2065	47		4.0	4.0	165.0	97.9	9.6	4.2	276.6	272.6	
2066	48		4.0	4.0	165.0	97.9	9.0	4.2	276.0	272.0	
2067	49	3.6	4.0	7.5	165.0	97.9	8.4	4.2	346.1	621.5	614.0
合計		826.7	176.3	1,003.0	7,172.2	4,179.0	1,120.6	179.9	346.1	12,997.8	11,994.7

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 40.5% NPV= 4,599 億円
B/C= 7.7

年度	施設供用期間	社会的割引率	割引後									
			初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	輸送コストの削減	海外TS回避便益	震災時輸送コストの削減	臨港道路の輸送コストの削減等	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2021	3	0.96	78.4	2.1	80.5							-80.5
2022	4	0.92	86.6	2.2	88.8					0.5	0.5	-88.3
2023	5	0.89	103.4	2.1	105.6					0.5	0.5	-105.1
2024	6	0.85	93.1	2.6	95.7	102.9	36.1	14.4	1.3	154.7	59.0	
2025	7	0.82	88.0	2.8	90.8	99.3	34.9	14.0	1.8	149.9	59.1	
2026	8	0.79	51.5	2.8	54.4	130.4	64.5	17.7	2.8	215.4	161.0	
2027	9	0.76	30.5	2.2	32.8	125.4	74.4	31.6	2.7	234.1	201.3	
2028	10	0.73	4.0	2.6	6.6	120.5	71.4	30.4	2.6	224.8	218.2	
2029	11	0.70		2.8	2.8	115.5	68.5	29.0	2.4	215.5	212.7	
2030	12	0.68		2.7	2.7	112.2	66.5	28.0	2.4	209.1	206.4	
2031	13	0.65		2.6	2.6	107.3	63.6	26.6	2.4	199.8	197.2	
2032	14	0.62		2.5	2.5	102.3	60.7	25.0	2.7	190.7	188.3	
2033	15	0.60	7.9	2.4	10.2	99.0	58.7	23.9	2.6	184.2	174.0	
2034	16	0.58		2.3	2.3	95.7	56.8	22.7	2.5	177.7	175.4	
2035	17	0.56	9.2	2.0	11.2	92.4	54.8	21.5	2.4	171.2	160.0	
2036	18	0.53	8.9	1.9	10.9	87.5	51.9	20.0	2.3	161.6	150.7	
2037	19	0.51	1.8	2.0	3.8	84.2	49.9	18.8	2.2	155.0	151.2	
2038	20	0.49		2.0	2.0	80.9	48.0	17.6	2.1	148.5	146.5	
2039	21	0.47	6.2	1.9	8.0	77.6	46.0	16.4	2.0	142.0	133.9	
2040	22	0.46	4.4	1.8	6.2	75.9	45.0	15.6	2.0	138.5	132.3	
2041	23	0.44		1.8	1.8	72.6	43.1	14.4	1.9	132.0	130.2	
2042	24	0.42		1.7	1.7	69.3	41.1	13.3	1.8	125.5	123.8	
2043	25	0.41		1.6	1.6	67.7	40.1	12.5	1.8	122.1	120.4	
2044	26	0.39		1.6	1.6	64.4	38.2	11.5	1.7	115.7	114.1	
2045	27	0.38	4.1	1.4	5.5	62.7	37.2	10.8	1.6	112.3	106.8	
2046	28	0.36		1.4	1.4	59.4	35.2	9.8	1.5	105.9	104.5	
2047	29	0.35		1.4	1.4	57.8	34.3	9.1	1.5	102.6	101.2	
2048	30	0.33	4.3	1.3	5.6	54.5	32.3	8.2	1.4	96.4	90.7	
2049	31	0.32		1.3	1.3	52.8	31.3	7.6	1.4	93.1	91.8	
2050	32	0.31		1.2	1.2	51.2	30.3	7.0	1.3	89.8	88.6	
2051	33	0.30		1.2	1.2	49.5	29.4	6.5	1.3	86.6	85.4	
2052	34	0.29	1.0	1.2	2.2	47.9	28.4	6.0	1.2	83.4	81.2	
2053	35	0.27	9.4	0.9	10.3	44.6	26.4	5.3	1.2	77.4	67.1	
2054	36	0.26	3.4	1.0	4.4	42.9	25.4	4.8	1.1	74.3	69.8	
2055	37	0.25	2.4	1.0	3.4	41.3	24.5	4.4	1.1	71.2	67.8	
2056	38	0.24		1.0	1.0	39.6	23.5	4.0	1.0	68.1	67.1	
2057	39	0.23		0.9	0.9	38.0	22.5	3.6	1.0	65.0	64.1	
2058	40	0.23		0.9	0.9	38.0	22.5	3.4	1.0	64.8	63.9	
2059	41	0.22		0.9	0.9	36.3	21.5	3.1	0.9	61.8	61.0	
2060	42	0.21		0.8	0.8	34.7	20.6	2.8	0.9	58.8	58.0	
2061	43	0.20	3.3	0.7	4.0	33.0	19.6	2.5	0.8	55.9	51.9	
2062	44	0.19	3.2	0.7	3.9	31.4	18.6	2.2	0.8	52.9	49.1	
2063	45	0.19	2.5	0.8	3.2	31.4	18.6	2.1	0.8	52.8	49.6	
2064	46	0.18		0.7	0.7	29.7	17.6	1.8	0.8	49.9	49.2	
2065	47	0.17		0.7	0.7	28.1	16.6	1.6	0.7	47.0	46.4	
2066	48	0.16		0.6	0.6	26.4	15.7	1.4	0.7	44.2	43.5	
2067	49	0.16	0.6	0.6	1.2	26.4	15.7	1.3	0.7	55.4	99.5	98.2
合計			608.0	75.6	683.6	2,939.6	1,681.7	533.8	72.1	55.4	5,282.6	4,599.1

大阪港北港南地区 国際海上コンテナターミナル整備事業費用対効果分析 残事業【需要+10%】

費用便益分析シート(割引前)

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 43.7% NPV= 5,127 億円
B/C= 8.5

年度	施設供用期間	割引前									
		初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	輸送コストの削減	海外TS回避便益	震災時輸送コストの削減	臨港道路の輸送コストの削減等	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2021	3	81.6	2.2	83.8							-83.8
2022	4	94.1	2.4	96.5				0.6	0.6	0.6	-95.9
2023	5	116.2	2.4	118.6				0.6	0.6	0.6	-118.0
2024	6	109.6	3.1	112.6	133.2	46.8	18.6	1.7	200.2	87.6	
2025	7	107.3	3.4	110.8	133.2	46.8	18.8	2.4	201.1	90.4	
2026	8	65.2	3.6	68.8	181.5	89.9	24.6	3.9	299.9	231.1	
2027	9	40.2	2.9	43.1	181.5	107.6	45.7	3.9	338.8	295.7	
2028	10	5.5	3.6	9.1	181.5	107.6	45.7	3.9	338.8	329.7	
2029	11		4.0	4.0	181.5	107.6	45.6	3.8	338.6	334.6	
2030	12		4.0	4.0	181.5	107.6	45.3	3.8	338.3	334.3	
2031	13		4.0	4.0	181.5	107.6	44.9	4.0	338.1	334.1	
2032	14		4.0	4.0	181.5	107.6	44.4	4.8	338.4	334.4	
2033	15	13.1	4.0	17.1	181.5	107.6	43.8	4.8	337.8	320.7	
2034	16		4.0	4.0	181.5	107.6	43.1	4.8	337.0	333.1	
2035	17	16.4	3.6	20.0	181.5	107.6	42.3	4.8	336.2	316.2	
2036	18	16.9	3.6	20.5	181.5	107.6	41.4	4.8	335.3	314.8	
2037	19	3.6	4.0	7.5	181.5	107.6	40.4	4.8	334.4	326.8	
2038	20		4.0	4.0	181.5	107.6	39.4	4.8	333.3	329.3	
2039	21	13.1	4.0	17.1	181.5	107.6	38.3	4.8	332.2	315.2	
2040	22	9.5	4.0	13.5	181.5	107.6	37.2	4.8	331.1	317.6	
2041	23		4.0	4.0	181.5	107.6	36.0	4.8	329.9	326.0	
2042	24		4.0	4.0	181.5	107.6	34.8	4.8	328.7	324.7	
2043	25		4.0	4.0	181.5	107.6	33.6	4.7	327.5	323.5	
2044	26		4.0	4.0	181.5	107.6	32.4	4.7	326.2	322.3	
2045	27	10.7	3.8	14.5	181.5	107.6	31.1	4.7	325.0	310.5	
2046	28		4.0	4.0	181.5	107.6	29.9	4.7	323.7	319.8	
2047	29		4.0	4.0	181.5	107.6	28.6	4.7	322.5	318.5	
2048	30	13.1	4.0	17.1	181.5	107.6	27.4	4.7	321.2	304.2	
2049	31		4.0	4.0	181.5	107.6	26.2	4.7	320.0	316.0	
2050	32		4.0	4.0	181.5	107.6	24.9	4.7	318.8	314.8	
2051	33		4.0	4.0	181.5	107.6	23.8	4.7	317.6	313.6	
2052	34	3.6	4.0	7.5	181.5	107.6	22.6	4.7	316.4	308.9	
2053	35	34.7	3.3	38.0	181.5	107.6	21.5	4.7	315.3	277.3	
2054	36	13.1	4.0	17.1	181.5	107.6	20.4	4.7	314.2	297.1	
2055	37	9.5	4.0	13.5	181.5	107.6	19.3	4.7	313.1	299.6	
2056	38		4.0	4.0	181.5	107.6	18.2	4.7	312.0	308.1	
2057	39		4.0	4.0	181.5	107.6	17.2	4.7	311.0	307.1	
2058	40		4.0	4.0	181.5	107.6	16.3	4.7	310.1	306.1	
2059	41		4.0	4.0	181.5	107.6	15.3	4.6	309.1	305.2	
2060	42		4.0	4.0	181.5	107.6	14.4	4.6	308.2	304.3	
2061	43	16.4	3.6	20.0	181.5	107.6	13.6	4.6	307.4	287.4	
2062	44	16.9	3.6	20.5	181.5	107.6	12.8	4.6	306.5	286.0	
2063	45	13.1	4.0	17.1	181.5	107.6	12.0	4.6	305.7	288.7	
2064	46		4.0	4.0	181.5	107.6	11.2	4.6	305.0	301.0	
2065	47		4.0	4.0	181.5	107.6	10.5	4.6	304.3	300.3	
2066	48		4.0	4.0	181.5	107.6	9.9	4.6	303.6	299.6	
2067	49	3.6	4.0	7.5	181.5	107.6	9.2	4.6	380.7	683.7	676.1
合計		826.7	176.3	1,003.0	7,889.4	4,596.6	1,232.6	198.0	380.7	14,297.3	13,294.3

年度	施設供用期間	社会的割引率	割引後									
			初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	輸送コストの削減	海外TS回避便益	震災時輸送コストの削減	臨港道路の輸送コストの削減等	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2021	3	0.96	78.4	2.1	80.5						-80.5	
2022	4	0.92	86.6	2.2	88.8					0.6	-88.2	
2023	5	0.89	103.4	2.1	105.6					0.6	-105.0	
2024	6	0.85	93.1	2.6	95.7	113.2	39.8	15.8	1.4	170.2	74.5	
2025	7	0.82	88.0	2.8	90.8	109.2	38.3	15.4	2.0	164.9	74.1	
2026	8	0.79	51.5	2.8	54.4	143.4	71.0	19.5	3.1	236.9	182.6	
2027	9	0.76	30.5	2.2	32.8	137.9	81.8	34.8	3.0	257.5	224.7	
2028	10	0.73	4.0	2.6	6.6	132.5	78.6	33.4	2.9	247.3	240.7	
2029	11	0.70		2.8	2.8	127.1	75.4	31.9	2.7	237.0	234.2	
2030	12	0.68		2.7	2.7	123.4	73.2	30.8	2.6	230.0	227.3	
2031	13	0.65		2.6	2.6	118.0	70.0	29.2	2.6	219.8	217.2	
2032	14	0.62		2.5	2.5	112.5	66.7	27.6	3.0	209.8	207.3	
2033	15	0.60	7.9	2.4	10.2	108.9	64.6	26.3	2.9	202.7	192.4	
2034	16	0.58		2.3	2.3	105.3	62.4	25.0	2.8	195.5	193.2	
2035	17	0.56	9.2	2.0	11.2	101.6	60.3	23.7	2.7	188.3	177.1	
2036	18	0.53	8.9	1.9	10.9	96.2	57.1	21.9	2.5	177.7	166.9	
2037	19	0.51	1.8	2.0	3.8	92.6	54.9	20.6	2.4	170.5	166.7	
2038	20	0.49		2.0	2.0	88.9	52.7	19.3	2.3	163.3	161.4	
2039	21	0.47	6.2	1.9	8.0	85.3	50.6	18.0	2.2	156.2	148.1	
2040	22	0.46	4.4	1.8	6.2	83.5	49.5	17.1	2.2	152.3	146.1	
2041	23	0.44		1.8	1.8	79.9	47.4	15.9	2.1	145.2	143.4	
2042	24	0.42		1.7	1.7	76.2	45.2	14.6	2.0	138.1	136.4	
2043	25	0.41		1.6	1.6	74.4	44.1	13.8	1.9	134.3	132.6	
2044	26	0.39		1.6	1.6	70.8	42.0	12.6	1.9	127.2	125.7	
2045	27	0.38	4.1	1.4	5.5	69.0	40.9	11.8	1.8	123.5	118.0	
2046	28	0.36		1.4	1.4	65.3	38.8	10.8	1.7	116.5	115.1	
2047	29	0.35		1.4	1.4	63.5	37.7	10.0	1.7	112.9	111.5	
2048	30	0.33	4.3	1.3	5.6	59.9	35.5	9.0	1.6	106.0	100.4	
2049	31	0.32		1.3	1.3	58.1	34.4	8.4	1.5	102.4	101.1	
2050	32	0.31		1.2	1.2	56.3	33.4	7.7	1.5	98.8	97.6	
2051	33	0.30		1.2	1.2	54.5	32.3	7.1	1.4	95.3	94.1	
2052	34	0.29	1.0	1.2	2.2	52.6	31.2	6.6	1.4	91.8	89.6	
2053	35	0.27	9.4	0.9	10.3	49.0	29.1	5.8	1.3	85.1	74.9	
2054	36	0.26	3.4	1.0	4.4	47.2	28.0	5.3	1.2	81.7	77.2	
2055	37	0.25	2.4	1.0	3.4	45.4	26.9	4.8	1.2	78.3	74.9	
2056	38	0.24		1.0	1.0	43.6	25.8	4.4	1.1	74.9	73.9	
2057	39	0.23		0.9	0.9	41.8	24.8	4.0	1.1	71.6	70.6	
2058	40	0.23		0.9	0.9	41.8	24.8	3.7	1.1	71.3	70.4	
2059	41	0.22		0.9	0.9	39.9	23.7	3.4	1.0	68.0	67.1	
2060	42	0.21		0.8	0.8	38.1	22.6	3.0	1.0	64.7	63.9	
2061	43	0.20	3.3	0.7	4.0	36.3	21.5	2.7	0.9	61.5	57.5	
2062	44	0.19	3.2	0.7	3.9	34.5	20.5	2.4	0.9	58.2	54.4	
2063	45	0.19	2.5	0.8	3.2	34.5	20.5	2.3	0.9	58.1	54.9	
2064	46	0.18		0.7	0.7	32.7	19.4	2.0	0.8	54.9	54.2	
2065	47	0.17		0.7	0.7	30.9	18.3	1.8	0.8	51.7	51.1	
2066	48	0.16		0.6	0.6	29.0	17.2	1.6	0.7	48.6	47.9	
2067	49	0.16	0.6	0.6	1.2	29.0	17.2	1.5	0.7	60.9	109.4	108.2
合計			608.0	75.6	683.6	3,233.6	1,849.8	587.2	79.4	60.9	5,810.9	5,127.3

大阪港北港南地区 国際海上コンテナターミナル整備事業費用対効果分析 残事業【需要-10%】

費用便益分析シート(割引前)

年度	施設供用期間	割引前									
		初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	輸送コストの削減	海外TS回避便益	震災時輸送コストの削減	臨港道路の輸送コストの削減等	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2021	3	81.6	2.2	83.8							-83.8
2022	4	94.1	2.4	96.5			0.5	0.5			-96.0
2023	5	116.2	2.4	118.6			0.5	0.5			-118.1
2024	6	109.6	3.1	112.6	109.0	38.3	15.2	1.4	163.8	51.2	
2025	7	107.3	3.4	110.8	109.0	38.3	15.4	2.0	164.6	53.8	
2026	8	65.2	3.6	68.8	148.5	73.5	20.2	3.2	245.4	176.6	
2027	9	40.2	2.9	43.1	148.5	88.1	37.4	3.2	277.2	234.1	
2028	10	5.5	3.6	9.1	148.5	88.1	37.4	3.2	277.2	268.1	
2029	11		4.0	4.0	148.5	88.1	37.3	3.1	277.0	273.0	
2030	12		4.0	4.0	148.5	88.1	37.1	3.1	276.8	272.8	
2031	13		4.0	4.0	148.5	88.1	36.8	3.3	276.6	272.6	
2032	14		4.0	4.0	148.5	88.1	36.4	3.9	276.9	272.9	
2033	15	13.1	4.0	17.1	148.5	88.1	35.9	3.9	276.4	259.3	
2034	16		4.0	4.0	148.5	88.1	35.3	3.9	275.8	271.8	
2035	17	16.4	3.6	20.0	148.5	88.1	34.6	3.9	275.1	255.1	
2036	18	16.9	3.6	20.5	148.5	88.1	33.9	3.9	274.4	253.9	
2037	19	3.6	4.0	7.5	148.5	88.1	33.1	3.9	273.6	266.0	
2038	20		4.0	4.0	148.5	88.1	32.2	3.9	272.7	268.8	
2039	21	13.1	4.0	17.1	148.5	88.1	31.4	3.9	271.8	254.8	
2040	22	9.5	4.0	13.5	148.5	88.1	30.4	3.9	270.9	257.4	
2041	23		4.0	4.0	148.5	88.1	29.5	3.9	269.9	266.0	
2042	24		4.0	4.0	148.5	88.1	28.5	3.9	269.0	265.0	
2043	25		4.0	4.0	148.5	88.1	27.5	3.9	267.9	264.0	
2044	26		4.0	4.0	148.5	88.1	26.5	3.9	266.9	263.0	
2045	27	10.7	3.8	14.5	148.5	88.1	25.5	3.9	265.9	251.5	
2046	28		4.0	4.0	148.5	88.1	24.4	3.9	264.9	260.9	
2047	29		4.0	4.0	148.5	88.1	23.4	3.9	263.8	259.9	
2048	30	13.1	4.0	17.1	148.5	88.1	22.4	3.9	262.8	245.8	
2049	31		4.0	4.0	148.5	88.1	21.4	3.9	261.8	257.9	
2050	32		4.0	4.0	148.5	88.1	20.4	3.8	260.8	256.9	
2051	33		4.0	4.0	148.5	88.1	19.4	3.8	259.9	255.9	
2052	34	3.6	4.0	7.5	148.5	88.1	18.5	3.8	258.9	251.4	
2053	35	34.7	3.3	38.0	148.5	88.1	17.6	3.8	258.0	219.9	
2054	36	13.1	4.0	17.1	148.5	88.1	16.7	3.8	257.0	240.0	
2055	37	9.5	4.0	13.5	148.5	88.1	15.8	3.8	256.2	242.7	
2056	38		4.0	4.0	148.5	88.1	14.9	3.8	255.3	251.3	
2057	39		4.0	4.0	148.5	88.1	14.1	3.8	254.5	250.5	
2058	40		4.0	4.0	148.5	88.1	13.3	3.8	253.7	249.7	
2059	41		4.0	4.0	148.5	88.1	12.6	3.8	252.9	249.0	
2060	42		4.0	4.0	148.5	88.1	11.8	3.8	252.2	248.2	
2061	43	16.4	3.6	20.0	148.5	88.1	11.1	3.8	251.5	231.5	
2062	44	16.9	3.6	20.5	148.5	88.1	10.4	3.8	250.8	230.3	
2063	45	13.1	4.0	17.1	148.5	88.1	9.8	3.8	250.2	233.1	
2064	46		4.0	4.0	148.5	88.1	9.2	3.8	249.5	245.6	
2065	47		4.0	4.0	148.5	88.1	8.6	3.8	249.0	245.0	
2066	48		4.0	4.0	148.5	88.1	8.1	3.8	248.4	244.4	
2067	49	3.6	4.0	7.5	148.5	88.1	7.5	3.8	311.5	559.4	551.8
合計		826.7	176.3	1,003.0	6,454.9	3,760.9	1,008.5	162.0	311.5	11,697.9	10,694.9

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 37.0% NPV= 4.071 億円
B/C= 7.0

年度	施設供用期間	社会的割引率	割引後									
			初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	輸送コストの削減	海外TS回避便益	震災時輸送コストの削減	臨港道路の輸送コストの削減等	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2021	3	0.96	78.4	2.1	80.5						-80.5	
2022	4	0.92	86.6	2.2	88.8				0.5	0.5	-88.3	
2023	5	0.89	103.4	2.1	105.6				0.5	0.5	-105.1	
2024	6	0.85	93.1	2.6	95.7	92.6	32.5	12.9	1.2	139.3	43.5	
2025	7	0.82	88.0	2.8	90.8	89.4	31.4	12.6	1.6	134.9	44.1	
2026	8	0.79	51.5	2.8	54.4	117.3	58.1	15.9	2.5	193.9	139.5	
2027	9	0.76	30.5	2.2	32.8	112.9	66.9	28.4	2.4	210.7	177.9	
2028	10	0.73	4.0	2.6	6.6	108.4	64.3	27.3	2.3	202.4	195.7	
2029	11	0.70		2.8	2.8	104.0	61.7	26.1	2.2	193.9	191.1	
2030	12	0.68		2.7	2.7	101.0	59.9	25.2	2.1	188.2	185.5	
2031	13	0.65		2.6	2.6	96.5	57.3	23.9	2.1	179.8	177.2	
2032	14	0.62		2.5	2.5	92.1	54.6	22.5	2.4	171.7	169.2	
2033	15	0.60	7.9	2.4	10.2	89.1	52.8	21.5	2.4	165.8	155.6	
2034	16	0.58		2.3	2.3	86.1	51.1	20.5	2.3	159.9	157.6	
2035	17	0.56	9.2	2.0	11.2	83.2	49.3	19.4	2.2	154.1	142.9	
2036	18	0.53	8.9	1.9	10.9	78.7	46.7	18.0	2.1	145.4	134.6	
2037	19	0.51	1.8	2.0	3.8	75.7	44.9	16.9	2.0	139.5	135.7	
2038	20	0.49		2.0	2.0	72.8	43.2	15.8	1.9	133.6	131.7	
2039	21	0.47	6.2	1.9	8.0	69.8	41.4	14.7	1.8	127.8	119.7	
2040	22	0.46	4.4	1.8	6.2	68.3	40.5	14.0	1.8	124.6	118.4	
2041	23	0.44		1.8	1.8	65.3	38.8	13.0	1.7	118.8	117.0	
2042	24	0.42		1.7	1.7	62.4	37.0	12.0	1.6	113.0	111.3	
2043	25	0.41		1.6	1.6	60.9	36.1	11.3	1.6	109.9	108.2	
2044	26	0.39		1.6	1.6	57.9	34.4	10.3	1.5	104.1	102.6	
2045	27	0.38	4.1	1.4	5.5	56.4	33.5	9.7	1.5	101.0	95.6	
2046	28	0.36		1.4	1.4	53.5	31.7	8.8	1.4	95.4	93.9	
2047	29	0.35		1.4	1.4	52.0	30.8	8.2	1.4	92.3	91.0	
2048	30	0.33	4.3	1.3	5.6	49.0	29.1	7.4	1.3	86.7	81.1	
2049	31	0.32		1.3	1.3	47.5	28.2	6.9	1.2	83.8	82.5	
2050	32	0.31		1.2	1.2	46.0	27.3	6.3	1.2	80.9	79.6	
2051	33	0.30		1.2	1.2	44.6	26.4	5.8	1.2	78.0	76.8	
2052	34	0.29	1.0	1.2	2.2	43.1	25.5	5.4	1.1	75.1	72.9	
2053	35	0.27	9.4	0.9	10.3	40.1	23.8	4.7	1.0	69.7	59.4	
2054	36	0.26	3.4	1.0	4.4	38.6	22.9	4.3	1.0	66.8	62.4	
2055	37	0.25	2.4	1.0	3.4	37.1	22.0	3.9	1.0	64.1	60.7	
2056	38	0.24		1.0	1.0	35.6	21.1	3.6	0.9	61.3	60.3	
2057	39	0.23		0.9	0.9	34.2	20.3	3.2	0.9	58.5	57.6	
2058	40	0.23		0.9	0.9	34.2	20.3	3.1	0.9	58.4	57.4	
2059	41	0.22		0.9	0.9	32.7	19.4	2.8	0.8	55.7	54.8	
2060	42	0.21		0.8	0.8	31.2	18.5	2.5	0.8	53.0	52.1	
2061	43	0.20	3.3	0.7	4.0	29.7	17.6	2.2	0.8	50.3	46.3	
2062	44	0.19	3.2	0.7	3.9	28.2	16.7	2.0	0.7	47.7	43.8	
2063	45	0.19	2.5	0.8	3.2	28.2	16.7	1.9	0.7	47.5	44.3	
2064	46	0.18		0.7	0.7	26.7	15.9	1.7	0.7	44.9	44.2	
2065	47	0.17		0.7	0.7	25.3	15.0	1.5	0.6	42.3	41.7	
2066	48	0.16		0.6	0.6	23.8	14.1	1.3	0.6	39.7	39.1	
2067	49	0.16	0.6	0.6	1.2	23.8	14.1	1.2	0.6	49.8	89.5	88.3
合計			608.0	75.6	683.6	2,645.7	1,513.5	480.4	65.0	49.8	4,754.4	4,070.8

大阪港北港南地区 国際海上コンテナターミナル整備事業費用対効果分析 残事業【事業費+10%】

費用便益分析シート(割引前)

(億円)											
年度	施設供用期間	割引前									
		初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	輸送コストの削減	海外TS回避便益	震災時輸送コストの削減	臨港道路の輸送コストの削減等	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2021	3	89.8	2.4	92.2						-92.2	
2022	4	103.5	2.6	106.2			0.6	0.6	0.6	-105.6	
2023	5	127.8	2.6	130.5			0.6	0.6	0.6	-129.9	
2024	6	120.5	3.4	123.9	121.1	42.5	16.9	1.5	182.0	58.2	
2025	7	118.1	3.8	121.8	121.1	42.5	17.1	2.2	182.8	61.0	
2026	8	71.7	4.0	75.7	165.0	81.7	22.4	3.6	272.6	197.0	
2027	9	44.2	3.2	47.4	165.0	97.9	41.6	3.6	308.0	260.6	
2028	10	6.0	4.0	10.0	165.0	97.9	41.6	3.6	308.0	298.0	
2029	11		4.4	4.4	165.0	97.9	41.5	3.5	307.8	303.4	
2030	12		4.4	4.4	165.0	97.9	41.2	3.5	307.5	303.2	
2031	13		4.4	4.4	165.0	97.9	40.9	3.6	307.3	303.0	
2032	14		4.4	4.4	165.0	97.9	40.4	4.4	307.6	303.3	
2033	15	14.4	4.4	18.8	165.0	97.9	39.8	4.4	307.1	288.3	
2034	16		4.4	4.4	165.0	97.9	39.2	4.4	306.4	302.0	
2035	17	18.0	4.0	22.0	165.0	97.9	38.5	4.4	305.7	282.7	
2036	18	18.6	4.0	22.5	165.0	97.9	37.6	4.4	304.9	282.3	
2037	19	3.9	4.4	8.3	165.0	97.9	36.8	4.4	304.0	295.7	
2038	20		4.4	4.4	165.0	97.9	35.8	4.3	303.0	298.7	
2039	21	14.4	4.4	18.8	165.0	97.9	34.8	4.3	302.0	283.2	
2040	22	10.5	4.4	14.9	165.0	97.9	33.8	4.3	301.0	286.1	
2041	23		4.4	4.4	165.0	97.9	32.8	4.3	299.9	295.6	
2042	24		4.4	4.4	165.0	97.9	31.7	4.3	298.8	294.5	
2043	25		4.4	4.4	165.0	97.9	30.5	4.3	297.7	293.3	
2044	26		4.4	4.4	165.0	97.9	29.4	4.3	296.6	292.2	
2045	27	11.7	4.2	15.9	165.0	97.9	28.3	4.3	295.4	279.6	
2046	28		4.4	4.4	165.0	97.9	27.2	4.3	294.3	289.9	
2047	29		4.4	4.4	165.0	97.9	26.0	4.3	293.2	288.8	
2048	30	14.4	4.4	18.8	165.0	97.9	24.9	4.3	292.0	273.3	
2049	31		4.4	4.4	165.0	97.9	23.8	4.3	290.9	286.5	
2050	32		4.4	4.4	165.0	97.9	22.7	4.3	289.8	285.4	
2051	33		4.4	4.4	165.0	97.9	21.6	4.3	288.7	284.4	
2052	34	3.9	4.4	8.3	165.0	97.9	20.5	4.3	287.7	279.4	
2053	35	38.2	3.6	41.8	165.0	97.9	19.5	4.3	286.6	244.8	
2054	36	14.4	4.4	18.8	165.0	97.9	18.5	4.3	285.6	266.8	
2055	37	10.5	4.4	14.9	165.0	97.9	17.5	4.2	284.6	269.8	
2056	38		4.4	4.4	165.0	97.9	16.6	4.2	283.7	279.3	
2057	39		4.4	4.4	165.0	97.9	15.7	4.2	282.8	278.4	
2058	40		4.4	4.4	165.0	97.9	14.8	4.2	281.9	277.5	
2059	41		4.4	4.4	165.0	97.9	13.9	4.2	281.0	276.7	
2060	42		4.4	4.4	165.0	97.9	13.1	4.2	280.2	275.8	
2061	43	18.0	4.0	22.0	165.0	97.9	12.4	4.2	279.4	257.4	
2062	44	18.6	4.0	22.5	165.0	97.9	11.6	4.2	278.7	256.1	
2063	45	14.4	4.4	18.8	165.0	97.9	10.9	4.2	278.0	259.2	
2064	46		4.4	4.4	165.0	97.9	10.2	4.2	277.3	272.9	
2065	47		4.4	4.4	165.0	97.9	9.6	4.2	276.6	272.2	
2066	48		4.4	4.4	165.0	97.9	9.0	4.2	276.0	271.6	
2067	49	3.9	4.4	8.3	165.0	97.9	8.4	4.2	346.1	621.5	
合計		909.4	194.0	1,103.4	7,172.2	4,179.0	1,120.6	179.9	346.1	12,997.8	11,894.4

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 37.4% NPV= 4,531 億円
B/C= 7.0

(億円)												
年度	施設供用期間	社会的割引率	割引後									
			初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	輸送コストの削減	海外TS回避便益	震災時輸送コストの削減	臨港道路の輸送コストの削減等	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2021	3	0.96	86.2	2.3	88.5						-88.5	
2022	4	0.92	95.2	2.4	97.7					0.5	0.5	-97.1
2023	5	0.89	113.8	2.4	116.1					0.5	0.5	-115.6
2024	6	0.85	102.4	2.9	105.3	102.9	36.1	14.4	1.3	154.7	49.4	
2025	7	0.82	96.8	3.1	99.9	99.3	34.9	14.0	1.8	149.9	50.1	
2026	8	0.79	56.7	3.1	59.8	130.4	64.5	17.7	2.8	215.4	155.6	
2027	9	0.76	33.6	2.5	36.0	125.4	74.4	31.6	2.7	234.1	198.0	
2028	10	0.73	4.4	2.9	7.3	120.5	71.4	30.4	2.6	224.8	217.5	
2029	11	0.70		3.1	3.1	115.5	68.5	29.0	2.4	215.5	212.4	
2030	12	0.68		3.0	3.0	112.2	66.5	28.0	2.4	209.1	206.2	
2031	13	0.65		2.8	2.8	107.3	63.6	26.6	2.4	199.8	196.9	
2032	14	0.62		2.7	2.7	102.3	60.7	25.0	2.7	190.7	188.0	
2033	15	0.60	8.7	2.6	11.3	99.0	58.7	23.9	2.6	184.2	173.0	
2034	16	0.58		2.5	2.5	95.7	56.8	22.7	2.5	177.7	175.2	
2035	17	0.56	10.1	2.2	12.3	92.4	54.8	21.5	2.4	171.2	158.9	
2036	18	0.53	9.8	2.1	11.9	87.5	51.9	20.0	2.3	161.6	149.6	
2037	19	0.51	2.0	2.2	4.2	84.2	49.9	18.8	2.2	155.0	150.8	
2038	20	0.49		2.1	2.1	80.9	48.0	17.6	2.1	148.5	146.3	
2039	21	0.47	6.8	2.1	8.8	77.6	46.0	16.4	2.0	142.0	133.1	
2040	22	0.46	4.8	2.0	6.8	75.9	45.0	15.6	2.0	138.5	131.6	
2041	23	0.44		1.9	1.9	72.6	43.1	14.4	1.9	132.0	130.1	
2042	24	0.42		1.8	1.8	69.3	41.1	13.3	1.8	125.5	123.7	
2043	25	0.41		1.8	1.8	67.0	40.1	12.5	1.8	122.1	120.3	
2044	26	0.39		1.7	1.7	64.4	38.2	11.5	1.7	115.7	114.0	
2045	27	0.38	4.5	1.6	6.0	62.7	37.2	10.8	1.6	112.3	106.2	
2046	28	0.36		1.6	1.6	59.4	35.2	9.8	1.5	105.9	104.4	
2047	29	0.35		1.5	1.5	57.8	34.3	9.1	1.5	102.6	101.1	
2048	30	0.33	4.8	1.4	6.2	54.5	32.3	8.2	1.4	96.4	90.2	
2049	31	0.32		1.4	1.4	52.8	31.3	7.6	1.4	93.1	91.7	
2050	32	0.31		1.4	1.4	51.2	30.3	7.0	1.3	89.8	88.5	
2051	33	0.30		1.3	1.3	49.5	29.4	6.5	1.3	86.6	85.3	
2052	34	0.29	1.1	1.3	2.4	47.9	28.4	6.0	1.2	83.4	81.0	
2053	35	0.27	10.3	1.0	11.3	44.6	26.4	5.3	1.2	77.4	66.1	
2054	36	0.26	3.8	1.1	4.9	42.9	25.4	4.8	1.1	74.3	69.4	
2055	37	0.25	2.6	1.1	3.7	41.3	24.5	4.4	1.1	71.2	67.5	
2056	38	0.24		1.1	1.1	39.6	23.5	4.0	1.0	68.1	67.0	
2057	39	0.23		1.0	1.0	38.0	22.5	3.6	1.0	65.0	64.0	
2058	40	0.23		1.0	1.0	38.0	22.5	3.4	1.0	64.8	63.8	
2059	41	0.22		1.0	1.0	36.3	21.5	3.1	0.9	61.8	60.9	
2060	42	0.21		0.9	0.9	34.7	20.6	2.8	0.9	58.8	57.9	
2061	43	0.20	3.6	0.8	4.4	33.0	19.6	2.5	0.8	55.9	51.5	
2062	44	0.19	3.5	0.8	4.3	31.4	18.6	2.2	0.8	52.9	48.7	
2063	45	0.19	2.7	0.8	3.6	31.4	18.6	2.1	0.8	52.8	49.2	
2064	46	0.18		0.8	0.8	29.7	17.6	1.8	0.8	49.9	49.1	
2065	47	0.17		0.7	0.7	28.1	16.6	1.6	0.7	47.0	46.3	
2066	48	0.16		0.7	0.7	26.4	15.7	1.4	0.7	44.2	43.5	
2067	49	0.16	0.6	0.7	1.3	26.4	15.7	1.3	0.7	55.4	99.5	
合計			668.7	83.2	752.0	2,939.6	1,681.7	533.8	72.1	55.4	5,282.6	4,530.7

大阪港北港南地区 国際海上コンテナターミナル整備事業費用対効果分析 残事業【事業費-10%】

費用便益分析シート(割引前)

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 44.1% NPV= 4,667 億円
B/C= 8.6

		(億円)									
		割引前									
年度	施設供用期間	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	輸送コストの削減	海外TS回避便益	震災時輸送コストの削減	臨港道路の輸送コストの削減等	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2021	3	73.5	2.0	75.4							-75.4
2022	4	84.7	2.2	86.9				0.6	0.6	-86.3	
2023	5	104.6	2.2	106.7				0.6	0.6	-106.2	
2024	6	98.6	2.8	101.4	121.1	42.5	16.9	1.5	182.0	80.7	
2025	7	96.6	3.1	99.7	121.1	42.5	17.1	2.2	182.8	83.2	
2026	8	58.7	3.2	61.9	165.0	81.7	22.4	3.6	272.6	210.7	
2027	9	36.2	2.6	38.8	165.0	97.9	41.6	3.6	308.0	269.2	
2028	10	4.9	3.2	8.2	165.0	97.9	41.6	3.6	308.0	299.8	
2029	11		3.6	3.6	165.0	97.9	41.5	3.5	307.8	304.2	
2030	12		3.6	3.6	165.0	97.9	41.2	3.5	307.5	304.0	
2031	13		3.6	3.6	165.0	97.9	40.9	3.6	307.3	303.8	
2032	14		3.6	3.6	165.0	97.9	40.4	4.4	307.6	304.1	
2033	15	11.8	3.6	15.4	165.0	97.9	39.8	4.4	307.1	291.7	
2034	16		3.6	3.6	165.0	97.9	39.2	4.4	306.4	302.8	
2035	17	14.7	3.3	18.0	165.0	97.9	38.5	4.4	305.7	287.7	
2036	18	15.2	3.3	18.4	165.0	97.9	37.6	4.4	304.9	286.4	
2037	19	3.2	3.6	6.8	165.0	97.9	36.8	4.4	304.0	297.2	
2038	20		3.6	3.6	165.0	97.9	35.8	4.3	303.0	299.5	
2039	21	11.8	3.6	15.4	165.0	97.9	34.8	4.3	302.0	286.7	
2040	22	8.6	3.6	12.1	165.0	97.9	33.8	4.3	301.0	288.9	
2041	23		3.6	3.6	165.0	97.9	32.8	4.3	299.9	296.4	
2042	24		3.6	3.6	165.0	97.9	31.7	4.3	298.8	295.3	
2043	25		3.6	3.6	165.0	97.9	30.5	4.3	297.7	294.1	
2044	26		3.6	3.6	165.0	97.9	29.4	4.3	296.6	293.0	
2045	27	9.6	3.4	13.0	165.0	97.9	28.3	4.3	295.4	282.4	
2046	28		3.6	3.6	165.0	97.9	27.2	4.3	294.3	290.7	
2047	29		3.6	3.6	165.0	97.9	26.0	4.3	293.2	289.6	
2048	30	11.8	3.6	15.4	165.0	97.9	24.9	4.3	292.0	276.7	
2049	31		3.6	3.6	165.0	97.9	23.8	4.3	290.9	287.3	
2050	32		3.6	3.6	165.0	97.9	22.7	4.3	289.8	286.2	
2051	33		3.6	3.6	165.0	97.9	21.6	4.3	288.7	285.2	
2052	34	3.2	3.6	6.8	165.0	97.9	20.5	4.3	287.7	280.9	
2053	35	31.3	3.0	34.2	165.0	97.9	19.5	4.3	286.6	252.4	
2054	36	11.8	3.6	15.4	165.0	97.9	18.5	4.3	285.6	270.3	
2055	37	8.6	3.6	12.1	165.0	97.9	17.5	4.2	284.6	272.5	
2056	38		3.6	3.6	165.0	97.9	16.6	4.2	283.7	280.1	
2057	39		3.6	3.6	165.0	97.9	15.7	4.2	282.8	279.2	
2058	40		3.6	3.6	165.0	97.9	14.8	4.2	281.9	278.3	
2059	41		3.6	3.6	165.0	97.9	13.9	4.2	281.0	277.5	
2060	42		3.6	3.6	165.0	97.9	13.1	4.2	280.2	276.6	
2061	43	14.7	3.3	18.0	165.0	97.9	12.4	4.2	279.4	261.4	
2062	44	15.2	3.3	18.4	165.0	97.9	11.6	4.2	278.7	260.2	
2063	45	11.8	3.6	15.4	165.0	97.9	10.9	4.2	278.0	262.6	
2064	46		3.6	3.6	165.0	97.9	10.2	4.2	277.3	273.7	
2065	47		3.6	3.6	165.0	97.9	9.6	4.2	276.6	273.0	
2066	48		3.6	3.6	165.0	97.9	9.0	4.2	276.0	272.4	
2067	49	3.2	3.6	6.8	165.0	97.9	8.4	4.2	346.1	621.5	
合計		744.1	158.5	902.6	7,172.2	4,179.0	1,120.6	179.9	346.1	12,997.8	12,095.2

		(億円)										
		割引後										
年度	施設供用期間	社会的割引率	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	輸送コストの削減	海外TS回避便益	震災時輸送コストの削減	臨港道路の輸送コストの削減等	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2021	3	0.96	70.5	1.9	72.4							-72.4
2022	4	0.92	77.9	2.0	79.9				0.5	0.5	-79.4	
2023	5	0.89	93.1	1.9	95.0				0.5	0.5	-94.5	
2024	6	0.85	83.8	2.4	86.2	102.9	36.1	14.4	1.3	154.7	68.6	
2025	7	0.82	79.2	2.5	81.7	99.3	34.9	14.0	1.8	149.9	68.2	
2026	8	0.79	46.4	2.6	48.9	130.4	64.5	17.7	2.8	215.4	166.5	
2027	9	0.76	27.5	2.0	29.5	125.4	74.4	31.6	2.7	234.1	204.6	
2028	10	0.73	3.6	2.4	6.0	120.5	71.4	30.4	2.6	224.8	218.9	
2029	11	0.70		2.5	2.5	115.5	68.5	29.0	2.4	215.5	213.0	
2030	12	0.68		2.4	2.4	112.2	66.5	28.0	2.4	209.1	206.7	
2031	13	0.65		2.3	2.3	107.3	63.6	26.6	2.4	199.8	197.5	
2032	14	0.62		2.2	2.2	102.3	60.7	25.0	2.7	190.7	188.5	
2033	15	0.60	7.1	2.1	9.2	99.0	58.7	23.9	2.6	184.2	175.0	
2034	16	0.58		2.1	2.1	95.7	56.8	22.7	2.5	177.7	175.6	
2035	17	0.56	8.3	1.8	10.1	92.4	54.8	21.5	2.4	171.2	161.1	
2036	18	0.53	8.1	1.7	9.8	87.5	51.9	20.0	2.3	161.6	151.8	
2037	19	0.51	1.6	1.8	3.5	84.2	49.9	18.8	2.2	155.0	151.6	
2038	20	0.49		1.8	1.8	80.9	48.0	17.6	2.1	148.5	146.7	
2039	21	0.47	5.5	1.7	7.2	77.6	46.0	16.4	2.0	142.0	134.7	
2040	22	0.46	3.9	1.6	5.6	75.9	45.0	15.6	2.0	138.5	130.4	
2041	23	0.44		1.6	1.6	72.6	43.1	14.4	1.9	132.0	130.9	
2042	24	0.42		1.5	1.5	69.3	41.1	13.3	1.8	125.5	124.0	
2043	25	0.41		1.5	1.5	67.7	40.1	12.5	1.8	122.1	120.6	
2044	26	0.39		1.4	1.4	64.4	38.2	11.5	1.7	115.7	114.3	
2045	27	0.38	3.6	1.3	4.9	62.7	37.2	10.8	1.6	112.3	107.3	
2046	28	0.36		1.3	1.3	59.4	35.2	9.8	1.5	105.9	104.7	
2047	29	0.35		1.3	1.3	57.8	34.3	9.1	1.5	102.6	101.4	
2048	30	0.33	3.9	1.2	5.1	54.5	32.3	8.2	1.4	96.4	91.3	
2049	31	0.32		1.1	1.1	52.8	31.3	7.6	1.4	93.1	92.0	
2050	32	0.31		1.1	1.1	51.2	30.3	7.0	1.3	89.8	88.7	
2051	33	0.30		1.1	1.1	49.5	29.4	6.5	1.3	86.6	85.6	
2052	34	0.29	0.9	1.0	2.0	47.9	28.4	6.0	1.2	83.4	81.5	
2053	35	0.27	8.4	0.8	9.2	44.6	26.4	5.3	1.2	77.4	68.2	
2054	36	0.26	3.1	0.9	4.0	42.9	25.4	4.8	1.1	74.3	70.3	
2055	37	0.25	2.1	0.9	3.0	41.3	24.5	4.4	1.1	71.2	68.1	
2056	38	0.24		0.9	0.9	39.6	23.5	4.0	1.0	68.1	67.2	
2057	39	0.23		0.8	0.8	38.0	22.5	3.6	1.0	65.0	64.2	
2058	40	0.23		0.8	0.8	38.0	22.5	3.4	1.0	64.8	64.0	
2059	41	0.22		0.8	0.8	36.3	21.5	3.1	0.9	61.8	61.0	
2060	42	0.21		0.8	0.8	34.7	20.6	2.8	0.9	58.8	58.1	
2061	43	0.20	3.0	0.7	3.6	33.0	19.6	2.5	0.8	55.9	52.3	
2062	44	0.19	2.9	0.6	3.5	31.4	18.6	2.2	0.8	52.9	49.4	
2063	45	0.19	2.2	0.7	2.9	31.4	18.6	2.1	0.8	52.8	49.9	
2064	46	0.18		0.6	0.6	29.7	17.6	1.8	0.8	49.9	49.3	
2065	47	0.17		0.6	0.6	28.1	16.6	1.6	0.7	47.0	46.4	
2066	48	0.16		0.6	0.6	26.4	15.7	1.4	0.7	44.2	43.6	
2067	49	0.16	0.5	0.6	1.1	26.4	15.7	1.3	0.7	55.4	99.5	
合計			547.1	68.0	615.2	2,939.6	1,681.7	533.8	72.1	55.4	5,282.6	4,667.5

大阪港北港南地区 国際海上コンテナターミナル整備事業費用対効果分析 残事業【建設期間+10%】

費用便益分析シート(割引前)

(億円)											
年度	施設供用期間	割引前									
		初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	輸送コストの削減	海外TS回避便益	震災時輸送コストの削減	臨港道路の輸送コストの削減等	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2021	4	72.2	2.2	74.4						-74.4	
2022	5	89.6	2.4	92.0						-92.0	
2023	6	103.4	2.4	105.8						-105.8	
2024	7	119.4	3.1	122.5						-121.9	
2025	8	106.7	3.4	110.1	121.1		0.6	0.6	122.6	12.6	
2026	9	70.6	3.6	74.2	121.1	42.5	17.6	2.2	183.4	109.2	
2027	10	78.2	2.9	81.1	165.0	81.7	17.8	3.6	268.0	186.9	
2028	11	5.5	3.6	9.1	165.0	97.9	23.2	3.6	289.6	280.6	
2029	12	5.5	4.0	9.5	165.0	97.9	42.9	3.6	309.3	299.9	
2030	13		4.0	4.0	165.0	97.9	42.8	3.5	309.1	305.2	
2031	14		4.0	4.0	165.0	97.9	42.6	3.5	308.9	304.9	
2032	15		4.0	4.0	165.0	97.9	42.2	3.6	308.7	304.7	
2033	16	13.1	4.0	17.1	165.0	97.9	41.7	4.4	308.9	291.9	
2034	17		4.0	4.0	165.0	97.9	41.1	4.4	308.4	304.4	
2035	18	16.4	3.6	20.0	165.0	97.9	40.5	4.4	307.7	287.7	
2036	19	16.9	3.6	20.5	165.0	97.9	39.7	4.4	306.9	286.4	
2037	20	3.6	4.0	7.5	165.0	97.9	38.9	4.4	306.1	298.5	
2038	21		4.0	4.0	165.0	97.9	38.0	4.4	305.2	301.2	
2039	22	13.1	4.0	17.1	165.0	97.9	37.0	4.3	304.2	287.1	
2040	23	9.5	4.0	13.5	165.0	97.9	36.0	4.3	303.2	289.7	
2041	24		4.0	4.0	165.0	97.9	34.9	4.3	302.1	298.1	
2042	25		4.0	4.0	165.0	97.9	33.8	4.3	301.0	297.0	
2043	26		4.0	4.0	165.0	97.9	32.7	4.3	299.9	295.9	
2044	27		4.0	4.0	165.0	97.9	31.5	4.3	298.7	294.7	
2045	28		4.0	4.0	165.0	97.9	30.4	4.3	297.5	293.6	
2046	29	10.7	3.8	14.5	165.0	97.9	29.2	4.3	296.4	281.9	
2047	30		4.0	4.0	165.0	97.9	28.0	4.3	295.2	291.2	
2048	31	13.1	4.0	17.1	165.0	97.9	26.9	4.3	294.0	276.9	
2049	32		4.0	4.0	165.0	97.9	25.7	4.3	292.8	288.9	
2050	33		4.0	4.0	165.0	97.9	24.5	4.3	291.7	287.7	
2051	34		4.0	4.0	165.0	97.9	23.4	4.3	290.5	286.6	
2052	35	3.6	4.0	7.5	165.0	97.9	22.3	4.3	289.4	281.9	
2053	36	34.7	3.3	38.0	165.0	97.9	21.2	4.3	288.3	250.3	
2054	37	13.1	4.0	17.1	165.0	97.9	20.1	4.3	287.3	270.2	
2055	38	9.5	4.0	13.5	165.0	97.9	19.1	4.3	286.2	272.7	
2056	39		4.0	4.0	165.0	97.9	18.1	4.2	285.2	281.2	
2057	40		4.0	4.0	165.0	97.9	17.1	4.2	284.2	280.3	
2058	41		4.0	4.0	165.0	97.9	16.2	4.2	283.3	279.3	
2059	42		4.0	4.0	165.0	97.9	15.3	4.2	282.4	278.4	
2060	43		4.0	4.0	165.0	97.9	14.4	4.2	281.5	277.5	
2061	44	16.4	3.6	20.0	165.0	97.9	13.6	4.2	280.6	260.6	
2062	45	16.9	3.6	20.5	165.0	97.9	12.8	4.2	279.8	259.3	
2063	46	13.1	4.0	17.1	165.0	97.9	12.0	4.2	279.0	262.0	
2064	47		4.0	4.0	165.0	97.9	11.2	4.2	278.3	274.3	
2065	48		4.0	4.0	165.0	97.9	10.5	4.2	277.6	273.6	
2066	49		4.0	4.0	165.0	97.9	9.9	4.2	276.9	273.0	
2067	50	3.6	4.0	7.5	165.0	97.9	9.2	4.2	350.3	626.5	
合計		858.1	176.3	1,034.4	7,007.2	4,038.6	1,105.8	175.2	350.3	12,677.0	11,642.7

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 30.8% NPV= 4,286 億円
B/C= 7.1

(億円)												
年度	施設供用期間	社会的割引率	割引後									
			初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	輸送コストの削減	海外TS回避便益	震災時輸送コストの削減	臨港道路の輸送コストの削減等	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2021	4	0.96	69.3	2.1	71.4						-71.4	
2022	5	0.92	82.5	2.2	84.7						-84.7	
2023	6	0.89	92.0	2.1	94.1						-94.1	
2024	7	0.85	101.5	2.6	104.1						-103.6	
2025	8	0.82	87.5	2.8	90.3	99.3				0.5	100.6	
2026	9	0.79	55.8	2.8	58.6	95.7	33.6	13.9	1.7	144.9	86.2	
2027	10	0.76	59.4	2.2	61.7	125.4	62.1	13.5	2.7	203.7	142.0	
2028	11	0.73	4.0	2.6	6.6	120.5	71.4	16.9	2.6	211.4	204.8	
2029	12	0.70	3.8	2.8	6.6	115.5	68.5	30.1	2.5	216.5	209.9	
2030	13	0.68		2.7	2.7	112.2	66.5	29.1	2.4	210.2	207.5	
2031	14	0.65		2.6	2.6	107.3	63.6	27.7	2.3	200.8	198.2	
2032	15	0.62		2.5	2.5	102.3	60.7	26.2	2.3	191.4	188.9	
2033	16	0.60	7.9	2.4	10.2	99.0	58.7	25.0	2.6	185.4	175.1	
2034	17	0.58		2.3	2.3	95.7	56.8	23.9	2.5	178.9	176.6	
2035	18	0.56	9.2	2.0	11.2	92.4	54.8	22.7	2.4	172.3	161.1	
2036	19	0.53	8.9	1.9	10.9	87.5	51.9	21.0	2.3	162.7	151.8	
2037	20	0.51	1.8	2.0	3.8	84.2	49.9	19.8	2.2	156.1	152.3	
2038	21	0.49		2.0	2.0	80.9	48.0	18.6	2.1	149.5	147.6	
2039	22	0.47	6.2	1.9	8.0	77.6	46.0	17.4	2.0	143.0	134.9	
2040	23	0.46	4.4	1.8	6.2	75.9	45.0	16.6	2.0	139.5	133.3	
2041	24	0.44		1.8	1.8	72.6	43.1	15.4	1.9	132.9	131.2	
2042	25	0.42		1.7	1.7	69.3	41.1	14.2	1.8	126.4	124.7	
2043	26	0.41		1.6	1.6	67.7	40.1	13.4	1.8	122.9	121.3	
2044	27	0.39		1.6	1.6	64.4	38.2	12.3	1.7	116.5	115.0	
2045	28	0.38		1.5	1.5	62.7	37.2	11.5	1.6	113.1	111.6	
2046	29	0.36	3.8	1.4	5.2	59.4	35.2	10.5	1.6	106.7	101.5	
2047	30	0.35		1.4	1.4	57.8	34.3	9.8	1.5	103.3	101.9	
2048	31	0.33	4.3	1.3	5.6	54.5	32.3	8.9	1.4	97.0	91.4	
2049	32	0.32		1.3	1.3	52.8	31.3	8.2	1.4	93.7	92.4	
2050	33	0.31		1.2	1.2	51.2	30.3	7.6	1.3	90.4	89.2	
2051	34	0.30		1.2	1.2	49.5	29.4	7.0	1.3	87.2	86.0	
2052	35	0.29	1.0	1.2	2.2	47.9	28.4	6.5	1.2	83.9	81.8	
2053	36	0.27	9.4	0.9	10.3	44.6	26.4	5.7	1.2	77.9	67.6	
2054	37	0.26	3.4	1.0	4.4	42.9	25.4	5.2	1.1	74.7	70.3	
2055	38	0.25	2.4	1.0	3.4	41.3	24.5	4.8	1.1	71.6	68.2	
2056	39	0.24		1.0	1.0	39.6	23.5	4.3	1.0	68.5	67.5	
2057	40	0.23		0.9	0.9	38.0	22.5	3.9	1.0	65.4	64.5	
2058	41	0.23		0.9	0.9	38.0	22.5	3.7	1.0	65.2	64.2	
2059	42	0.22		0.9	0.9	36.3	21.5	3.4	0.9	62.1	61.3	
2060	43	0.21		0.8	0.8	34.7	20.6	3.0	0.9	59.1	58.3	
2061	44	0.20	3.3	0.7	4.0	33.0	19.6	2.7	0.8	56.1	52.1	
2062	45	0.19	3.2	0.7	3.9	31.4	18.6	2.4	0.8	53.2	49.3	
2063	46	0.19	2.5	0.8	3.2	31.4	18.6	2.3	0.8	53.0	49.8	
2064	47	0.18		0.7	0.7	29.7	17.6	2.0	0.8	50.1	49.4	
2065	48	0.17		0.7	0.7	28.1	16.6	1.8	0.7	47.2	46.5	
2066	49	0.16		0.6	0.6	26.4	15.7	1.6	0.7	44.3	43.7	
2067	50	0.16	0.6	0.6	1.2	26.4	15.7	1.5	0.7	56.0	100.3	
合計			628.0	75.6	703.6	2,801.9	1,567.5	496.0	68.3	56.0	4,989.7	4,286.1

大阪港北港南地区 国際海上コンテナターミナル整備事業費用対効果分析 残事業【建設期間-10%】

費用便益分析シート(割引前)

費用便益分析シート(割引後)

EIRR= 49.4% NPV= 4.825 億円
B/C= 8.0

割引前											
年度	施設供用期間	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	輸送コストの削減	海外TS回避便益	震災時輸送コストの削減	臨港道路の輸送コストの削減等	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2021	3	126.9	2.2	129.1						0.6	-129.1
2022	4	106.9	2.4	109.3				0.6	0.6	-108.8	
2023	5	106.3	2.4	108.7	121.1	42.5	16.2	0.6	180.3	71.6	
2024	6	110.2	3.1	113.3	121.1	42.5	16.4	1.5	181.5	68.2	
2025	7	91.0	3.4	94.5	165.0	81.7	21.6	2.2	270.5	176.0	
2026	8	38.1	3.6	41.7	165.0	97.9	40.2	3.6	306.6	264.9	
2027	9	40.2	3.3	43.5	165.0	97.9	40.3	3.6	306.7	263.2	
2028	10		4.0	4.0	165.0	97.9	40.3	3.6	306.7	302.8	
2029	11		4.0	4.0	165.0	97.9	40.2	3.5	306.5	302.6	
2030	12		4.0	4.0	165.0	97.9	40.0	3.5	306.3	302.3	
2031	13		4.0	4.0	165.0	97.9	39.6	3.6	306.1	302.1	
2032	14		4.0	4.0	165.0	97.9	39.2	4.4	306.4	302.4	
2033	15	13.1	4.0	17.1	165.0	97.9	38.6	4.4	305.9	288.8	
2034	16		4.0	4.0	165.0	97.9	38.0	4.4	305.2	301.3	
2035	17	16.4	3.6	20.0	165.0	97.9	37.3	4.4	304.5	284.5	
2036	18	16.9	3.6	20.5	165.0	97.9	36.5	4.4	303.7	283.2	
2037	19	3.6	4.0	7.5	165.0	97.9	35.7	4.4	302.9	295.3	
2038	20		4.0	4.0	165.0	97.9	34.7	4.3	301.9	298.0	
2039	21	13.1	4.0	17.1	165.0	97.9	33.8	4.3	301.0	283.9	
2040	22	9.5	4.0	13.5	165.0	97.9	32.8	4.3	300.0	286.5	
2041	23		4.0	4.0	165.0	97.9	31.8	4.3	298.9	295.0	
2042	24		4.0	4.0	165.0	97.9	30.7	4.3	297.9	293.9	
2043	25		4.0	4.0	165.0	97.9	29.6	4.3	296.8	292.8	
2044	26	10.7	3.8	14.5	165.0	97.9	28.5	4.3	295.7	281.2	
2045	27		4.0	4.0	165.0	97.9	27.4	4.3	294.6	290.6	
2046	28		4.0	4.0	165.0	97.9	26.3	4.3	293.5	289.5	
2047	29		4.0	4.0	165.0	97.9	25.2	4.3	292.4	288.4	
2048	30	13.1	4.0	17.1	165.0	97.9	24.1	4.3	291.3	274.2	
2049	31		4.0	4.0	165.0	97.9	23.1	4.3	290.2	286.2	
2050	32		4.0	4.0	165.0	97.9	22.0	4.3	289.1	285.2	
2051	33		4.0	4.0	165.0	97.9	21.0	4.3	288.1	284.1	
2052	34	3.6	4.0	7.5	165.0	97.9	19.9	4.3	287.0	279.5	
2053	35	34.7	3.3	38.0	165.0	97.9	18.9	4.3	286.0	248.0	
2054	36	13.1	4.0	17.1	165.0	97.9	18.0	4.3	285.1	268.0	
2055	37	9.5	4.0	13.5	165.0	97.9	17.0	4.2	284.1	270.6	
2056	38		4.0	4.0	165.0	97.9	16.1	4.2	283.2	279.2	
2057	39		4.0	4.0	165.0	97.9	15.2	4.2	282.3	278.3	
2058	40		4.0	4.0	165.0	97.9	14.3	4.2	281.4	277.5	
2059	41		4.0	4.0	165.0	97.9	13.5	4.2	280.6	276.6	
2060	42		4.0	4.0	165.0	97.9	12.7	4.2	279.8	275.8	
2061	43	16.4	3.6	20.0	165.0	97.9	12.0	4.2	279.1	259.1	
2062	44	16.9	3.6	20.5	165.0	97.9	11.3	4.2	278.3	257.8	
2063	45	13.1	4.0	17.1	165.0	97.9	10.6	4.2	277.6	260.6	
2064	46		4.0	4.0	165.0	97.9	9.9	4.2	277.0	273.0	
2065	47		4.0	4.0	165.0	97.9	9.3	4.2	276.3	272.4	
2066	48		4.0	4.0	165.0	97.9	8.7	4.2	275.7	271.7	
2067	49	3.6	4.0	7.5	165.0	97.9	8.1	4.2	292.1	567.2	
合計		826.7	177.0	1,003.7	7,337.2	4,276.8	1,126.4	179.9	292.1	13,212.4	12,208.6

割引後												
年度	施設供用期間	社会的割引率	初期投資・更新投資	運営・維持コスト	総費用(C)	輸送コストの削減	海外TS回避便益	震災時輸送コストの削減	臨港道路の輸送コストの削減等	残存価値	総便益(B)	純便益(B-C)
2021	3	0.96	121.8	2.1	123.9						0.5	-123.9
2022	4	0.92	98.4	2.2	100.6						0.5	-100.1
2023	5	0.89	94.6	2.1	96.8	107.8	37.8	14.4	0.5		160.5	63.7
2024	6	0.85	93.7	2.6	96.3	102.9	36.1	13.9	1.3		154.3	58.0
2025	7	0.82	74.6	2.8	77.4	135.3	67.0	17.7	1.8		221.8	144.3
2026	8	0.79	30.1	2.8	32.9	130.4	77.3	31.7	2.8		242.2	209.3
2027	9	0.76	30.6	2.5	33.1	125.4	74.4	30.6	2.7		233.1	200.0
2028	10	0.73		2.9	2.9	120.5	71.4	29.4	2.6		223.9	221.0
2029	11	0.70		2.8	2.8	115.5	68.5	28.1	2.4		214.6	211.8
2030	12	0.68		2.7	2.7	112.2	66.5	27.2	2.4		208.3	205.6
2031	13	0.65		2.6	2.6	107.3	63.6	25.8	2.4		199.0	196.4
2032	14	0.62		2.5	2.5	102.3	60.7	24.3	2.7		190.0	187.5
2033	15	0.60	7.9	2.4	10.2	99.0	58.7	23.2	2.6		183.5	173.3
2034	16	0.58		2.3	2.3	95.7	56.8	22.0	2.5		177.0	174.7
2035	17	0.56	9.2	2.0	11.2	92.4	54.8	20.9	2.4		170.5	159.3
2036	18	0.53	8.9	1.9	10.9	87.5	51.9	19.4	2.3		161.0	150.1
2037	19	0.51	1.8	2.0	3.8	84.2	49.9	18.2	2.2		154.5	150.6
2038	20	0.49		2.0	2.0	80.9	48.0	17.0	2.1		148.0	146.0
2039	21	0.47	6.2	1.9	8.0	77.6	46.0	15.9	2.0		141.5	133.4
2040	22	0.46	4.4	1.8	6.2	75.9	45.0	15.1	2.0		138.0	131.8
2041	23	0.44		1.8	1.8	72.6	43.1	14.0	1.9		131.5	129.8
2042	24	0.42		1.7	1.7	69.3	41.1	12.9	1.8		125.1	123.4
2043	25	0.41		1.6	1.6	67.7	40.1	12.1	1.8		121.7	120.1
2044	26	0.39	4.2	1.5	5.6	64.4	38.2	11.1	1.7		115.3	109.7
2045	27	0.38		1.5	1.5	62.7	37.2	10.4	1.6		111.9	110.4
2046	28	0.36		1.4	1.4	59.4	35.2	9.5	1.5		105.7	104.2
2047	29	0.35		1.4	1.4	57.8	34.3	8.8	1.5		102.3	100.9
2048	30	0.33	4.3	1.3	5.6	54.5	32.3	8.0	1.4		96.1	90.5
2049	31	0.32		1.3	1.3	52.8	31.3	7.4	1.4		92.9	91.6
2050	32	0.31		1.2	1.2	51.2	30.3	6.8	1.3		89.6	88.4
2051	33	0.30		1.2	1.2	49.5	29.4	6.3	1.3		86.4	85.2
2052	34	0.29	1.0	1.2	2.2	47.9	28.4	5.8	1.2		83.3	81.1
2053	35	0.27	9.4	0.9	10.3	44.6	26.4	5.1	1.2		77.2	67.0
2054	36	0.26	3.4	1.0	4.4	42.9	25.4	4.7	1.1		74.1	69.7
2055	37	0.25	2.4	1.0	3.4	41.3	24.5	4.3	1.1		71.0	67.7
2056	38	0.24		1.0	1.0	39.6	23.5	3.9	1.0		68.0	67.0
2057	39	0.23		0.9	0.9	38.0	22.5	3.5	1.0		64.9	64.0
2058	40	0.23		0.9	0.9	38.0	22.5	3.3	1.0		64.7	63.8
2059	41	0.22		0.9	0.9	36.3	21.5	3.0	0.9		61.7	60.9
2060	42	0.21		0.8	0.8	34.7	20.6	2.7	0.9		58.8	57.9
2061	43	0.20	3.3	0.7	4.0	33.0	19.6	2.4	0.8		55.8	51.8
2062	44	0.19	3.2	0.7	3.9	31.4	18.6	2.1	0.8		52.9	49.0
2063	45	0.19	2.5	0.8	3.2	31.4	18.6	2.0	0.8		52.8	49.5
2064	46	0.18		0.7	0.7	29.7	17.6	1.8	0.8		49.8	49.1
2065	47	0.17		0.7	0.7	28.1	16.6	1.6	0.7		47.0	46.3
2066	48	0.16		0.6	0.6	26.4	15.7	1.4	0.7		44.1	43.5
2067	49	0.16	0.6	0.6	1.2	26.4	15.7	1.3	0.7	46.7	90.8	89.6
合計			616.3	76.2	692.5	3,083.3	1,764.5	550.8	72.1	46.7	5,517.5	4,825.0

大阪港北港南地区国際海上コンテナターミナル整備事業 費用便益の概要

便益

項目	区分	単位当りの便益			便益(代表年)	
			単位	備考		単位
利用者便益	輸送コストの削減	115.9	千円/TEU・年	海外トランシップ回避による輸送コストの削減(基幹航路)	116.8	億円/年
		69.8	千円/TEU・年	陸上輸送コストの削減(その他航路)	606.6	億円/年
利用者便益	自動車交通の円滑化	0.9	千円/台・年	輸送・移動費用の削減効果	0.30	億円/年
		11.3	千円/台・年	輸送・移動時間費用の削減効果	3.9	億円/年
		0.5	千円/台・年	事故損失額の削減効果	0.16	億円/年
耐震便益	輸送コストの削減 (地震発生確率考慮後)	3.0	千円/TEU・年	震災時における輸送コストの削減	41.7	億円/年
残存価値	残存価値	869.9	億円	ふ頭用地及び荷役機械等の残存価値 (評価期間の最終年に計上)	869.9	億円

* 便益の算出にあたっては、「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル(平成29年3月)」を参照

費用

費用項目	建設費、更新費、管理運営費 等
事業の対象施設	岸壁(-15~-16m)(耐震)、航路(-15~-16m)、荷さばき地、臨港道路 等

【外貿コンテナ貨物の海外トランシップ回避による輸送コスト削減等】

【資料3-1】

外貿コンテナを輸送する海上輸送コストおよび輸送時間コストの削減額を算出する。基幹航路without時の代替港は、大阪港咲洲地区－海外T/SIによる海上輸送として設定する。なお、本プロジェクトは岸壁(-15m)、岸壁(-16m)の段階的な供用を図っていることから、STEP-1を岸壁(-15m)、STEP-2を岸壁(-16m)の効果として計測する。また、With時、Without時ともに大阪港を利用することから陸上輸送等にかかる費用はキャンセルアウトとした。便益対象貨物量は10万TEU（実入り）と予測。本プロジェクトの実施により、117億円/年の輸送コストが削減可能となる。

【海上輸送費用】

項 目		北米航路(STEP-1)		北米航路(STEP-2)	
		With時 (6,000TEU)	Without時 (海外TS)	With時 (6,000～8,000TEU)	Without時 (海外TS)
コンテナ取扱個数(個/年)	20ft輸出	10,517	10,517	10,517	10,517
	40ft輸出	12,621	12,621	12,621	12,621
	20ft輸入	19,134	19,134	19,134	19,134
	40ft輸入	22,961	22,961	22,961	22,961
輸送距離(海里)(大阪港～相手港)		5,142		5,142	
1個当たり海上輸送費用 (円/個) (大阪港～相手港)	20ft輸出	43,552		40,383～43,552	
	40ft輸出	65,260		60,445～65,260	
	20ft輸入	43,552		40,383～43,552	
	40ft輸入	65,260		60,445～65,260	
輸送距離(海里)(大阪港～釜山港)			367		367
1個当たり海上輸送費用 (円/個) (大阪港～釜山港)	20ft輸出		10,642		10,642
	40ft輸出		15,968		15,968
	20ft輸入		10,642		10,642
	40ft輸入		15,968		15,968
輸送距離(海里)(釜山港～相手港)			5,235		5,235
1個当たり海上輸送費用 (円/個) (釜山港～相手港)	20ft輸出		41,067～44,293		41,067～44,293
	40ft輸出		61,469～66,371		61,469～66,371
	20ft輸入		41,067～44,293		41,067～44,293
	40ft輸入		61,469～66,371		61,469～66,371
1個当たりトランシップ費用 (円/個) (釜山港)	20ft輸出		12,000		12,000
	40ft輸出		18,000		18,000
	20ft輸入		12,000		12,000
	40ft輸入		18,000		18,000
海上輸送費用 (千円/年)	20ft輸出	458,057	679,321	433,826	679,321
	40ft輸出	823,645	1,221,398	779,465	1,221,398
	20ft輸入	833,343	1,235,887	789,260	1,235,887
	40ft輸入	1,498,455	2,222,087	1,418,079	2,222,087
	小計	3,613,500	5,358,692	3,420,630	5,358,692
海上輸送費用削減便益(計)			1,745,192		1,938,062

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

【海上輸送時間費用】

項目	北米航路 (STEP-1)		北米航路 (STEP-2)		
	With時 (6,000TEU)	Without時 (海外TS)	With時 (6,000~8,000TEU)	Without時 (海外TS)	
コンテナ取扱個数(個/年)	20ft輸出	10,517	10,517	10,517	
	40ft輸出	12,621	12,621	12,621	
	20ft輸入	19,134	19,134	19,134	
	40ft輸入	22,961	22,961	22,961	
輸送時間(時間)	299	345~357	287~299	345~357	
時間費用原単位 (円/h/個)	20ft輸出	2,200	2,200	2,200	
	40ft輸出	3,300	3,300	3,300	
	20ft輸入	1,900	1,900	1,900	
	40ft輸入	2,900	2,900	2,900	
海上輸送費用 (千円/年)	20ft輸出	6,917,321	8,063,923	6,720,660	8,063,923
	40ft輸出	12,451,178	14,515,061	12,097,189	14,515,061
	20ft輸入	10,868,578	12,670,133	10,559,583	12,670,133
	40ft輸入	19,906,659	23,206,349	19,340,709	23,206,349
	小計	50,143,736	58,455,465	48,718,141	58,455,465
海上輸送費用削減便益(計)	8,311,730		9,737,324		

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

〔外貿コンテナ貨物の海外トランシップ回避による輸送コスト削減等便益額 合計(百万円/年)〕	11,675
---	--------

〔外貿コンテナ貨物の陸上輸送コスト削減〕

外貿コンテナを輸送する陸上輸送コスト、海上輸送コストおよび輸送時間コストの削減額を算出する。その他航路(豪州航路、東南アジア、近海航路)については、Without時はコンテナ貨物がオーバーフローすることから、代替港を伊勢湾諸港等と設定する。便益対象貨物量は87万TEU(実入り)と予測。本プロジェクトの実施により、607億円/年の輸送コストが削減可能となる。

【陸上輸送費用】

項目	豪州航路		東南アジア航路		近海航路		
	With時 (夢洲地区)	Without時 (四日市港)	With時 (夢洲地区)	Without時 (四日市・堺泉北港)	With時 (夢洲地区)	Without時 (四日市・堺泉北港他)	
コンテナ取扱個数(個/年)	20ft輸出	5,124	5,124	73,606	73,606	28,810	28,810
	40ft輸出	6,149	6,149	88,327	88,327	34,573	34,573
	20ft輸入	6,995	6,995	77,743	77,743	63,341	63,341
	40ft輸入	8,394	8,394	93,292	93,292	76,009	76,009
輸送距離(km)	16~89	92~225	16~169	15~276	16~169	4~225	
1個当たり陸上輸送費用 (円/個)	20ft輸出	36,175~95,424	101,558~176,547	36,175~141,638	36,243~201,986	36,175~141,638	20,140~176,547
	40ft輸出	55,735~143,354	150,908~252,417	55,735~205,908	55,803~287,516	55,735~205,908	30,990~252,417
	20ft輸入	36,175~95,424	101,558~176,547	36,175~141,638	36,243~201,986	36,175~141,638	20,140~176,547
	40ft輸入	55,735~143,354	150,908~252,417	55,735~205,908	55,803~287,516	55,735~205,908	30,990~252,417
陸上輸送費用 (千円/年)	20ft輸出	318,787	729,534	3,702,638	9,608,113	1,511,505	3,429,025
	40ft輸出	579,559	1,267,905	6,789,865	16,772,139	2,771,058	6,011,039
	20ft輸入	302,822	956,046	3,820,558	9,884,417	3,222,159	7,572,368
	40ft輸入	559,042	1,665,241	7,042,495	17,287,444	5,921,469	13,275,064
	小計	1,760,210	4,618,725	21,355,556	53,552,112	13,426,192	30,287,495
陸上輸送費用削減便益(計)	51,916,375						

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

【資料3-2】

【海上輸送費用】

項 目		豪州航路		東南アジア航路		近海航路	
		With時 (夢洲地区)	Without時 (四日市港)	With時 (夢洲地区)	Without時 (四日市・堺泉北 港)	With時 (夢洲地区)	Without時 (四日市・堺泉北 港他)
コンテナ取扱個数(個／ 年)	20ft輸出	5,124	5,124	73,606	73,606	28,810	28,810
	40ft輸出	6,149	6,149	88,327	88,327	34,573	34,573
	20ft輸入	6,995	6,995	77,743	77,743	63,341	63,341
	40ft輸入	8,394	8,394	93,292	93,292	76,009	76,009
輸送距離(海里)		4,411	4,388	2,697	2,697～2,791	776	776～921
1個当たり海上輸送費用 (円／個)	20ft輸出	42,972	42,762	35,265	35,265～36,376	17,284	17,284～19,682
	40ft輸出	64,453	64,139	52,831	52,831～54,494	25,931	25,931～29,528
	20ft輸入	42,972	42,762	35,265	35,265～36,376	17,284	25,244～28,554
	40ft輸入	64,453	64,139	52,831	52,831～54,494	25,931	37,852～42,815
海上輸送費用 (千円／年)	20ft輸出	220,202	219,125	2,595,720	2,672,294	497,960	551,921
	40ft輸出	396,332	394,401	4,666,423	4,803,962	896,501	993,633
	20ft輸入	300,604	299,135	2,741,618	2,822,406	1,094,783	1,214,069
	40ft輸入	541,046	538,410	4,928,709	5,073,826	1,970,989	2,185,708
	小計	1,458,183	1,451,071	14,932,470	15,372,487	4,460,233	4,945,330
海上輸送費用削減便益(計)		918,003					

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

【輸送時間費用(海上+陸上)】

項 目		豪州航路		東南アジア航路		近海航路	
		With時 (夢洲地区)	Without時 (四日市港)	With時 (夢洲地区)	Without時 (四日市・堺泉北 港)	With時 (夢洲地区)	Without時 (四日市・堺泉北 港他)
コンテナ取扱個数(個／ 年)	20ft輸出	5,124	5,124	73,606	73,606	28,810	28,810
	40ft輸出	6,149	6,149	88,327	88,327	34,573	34,573
	20ft輸入	6,995	6,995	77,743	77,743	63,341	63,341
	40ft輸入	8,394	8,394	93,292	93,292	76,009	76,009
輸送時間(時間)		273～274	272～274	185～188	185～196	60～63	60～74
時間費用原単位 (円／h／個)	20ft輸出	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
	40ft輸出	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
	20ft輸入	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
	40ft輸入	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
輸送時間費用 (千円／年)	20ft輸出	2,238,908	2,240,575	21,824,371	22,717,229	2,779,895	3,241,329
	40ft輸出	3,862,116	3,864,991	37,647,039	39,187,175	4,795,319	5,591,293
	20ft輸入	2,289,702	2,292,959	17,284,964	17,988,528	4,581,512	5,348,675
	40ft輸入	4,121,464	4,127,326	31,112,936	32,379,387	8,246,722	9,627,616
	小計	12,512,189	12,525,851	107,869,310	112,272,320	20,403,449	23,808,913
輸送時間費用削減便益(計)		7,822,135					

外貨コンテナ貨物の陸上輸送コスト削減便益額 合計(百万円/年)

60,657

〔耐震強化岸壁の整備に伴う陸上輸送コスト削減〕

【資料3-4】

今回整備される岸壁を耐震強化岸壁として整備することで、地震時においても継続的に幹線貨物を取り扱うことが可能となり、輸送コストの増大回避が図られる。地震時に外貿コンテナを輸送する陸上輸送コスト、海上輸送コストおよび輸送時間コストの削減額を算出する。Without時の代替港は、対象地震（南海地震）の影響範囲を鑑みて、伊勢湾諸港等を設定。便益対象貨物量は138万TEU（実入り）と予測。本プロジェクトの実施により、1,295億円/年（地震発生確率考慮前）の輸送コストが削減可能となる。

耐震強化岸壁の整備に伴う陸上輸送コスト削減便益額 合計(百万円/回)	129,535
------------------------------------	---------

(地震発生確率考慮前)

		単年度便益	
I. 一般貨物輸送費削減（被災1年目（1年分））：B（Q1）	102,913	百万円/年	
II. 一般貨物輸送費削減（被災1年後～2年後（1年分））：B（Q2）	98,954	百万円/年	
社会的割引率：i	0.04		
一般貨物輸送コスト削減効果：Be	201,867	百万円/年	
通常時の海上輸送削減便益：B	72,332	百万円/年	
通常時発現便益を除いた地震時発現便益：Be-B	129,535	百万円/年	

【陸上輸送費用-1】

項 目		北米航路		豪州航路	
		With時 (夢洲地区)	Without時 (名古屋港)	With時 (夢洲地区)	Without時 (四日市港)
コンテナ取扱個数(個/年)	20ft輸出	14,290	14,290	3,561	3,561
	40ft輸出	17,148	17,148	4,273	4,273
	20ft輸入	25,998	25,998	4,861	4,861
	40ft輸入	31,197	31,197	5,834	5,834
輸送距離(km)		16～169	108～292	16～90	92～225
輸送費用(円/個)	20ft輸出	36,175～141,638	111,303～207,776	36,175～95,424	101,558～176,547
	40ft輸出	55,735～205,908	163,983～293,306	55,735～143,354	150,908～252,417
	20ft輸入	36,175～141,638	111,303～207,776	36,175～95,424	101,558～176,547
	40ft輸入	55,735～205,908	163,983～293,306	55,735～143,354	150,908～252,417
陸上輸送費用 (千円/年)	20ft輸出	745,983	2,087,429	221,542	506,991
	40ft輸出	1,365,523	3,618,866	402,766	881,133
	20ft輸入	1,251,572	3,862,140	210,444	664,398
	40ft輸入	2,296,823	6,688,494	388,502	1,157,247
小計		5,659,901	16,256,930	1,223,254	3,209,769
陸上輸送費用削減便益(計)		10,597,029		1,986,515	

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

【海上輸送費用-1】

項目		北米航路		豪州航路	
		With時 (夢洲地区)	Without時 (名古屋港)	With時 (夢洲地区)	Without時 (四日市港)
コンテナ取扱個数(個/年)	20ft輸出	14,290	14,290	3,561	3,561
	40ft輸出	17,148	17,148	4,273	4,273
	20ft輸入	25,998	25,998	4,861	4,861
	40ft輸入	31,197	31,197	5,834	5,834
輸送距離(海里)		5,142	4,992	4,411	4,388
1個当たり海上輸送費用 (円/個)	20ft輸出	4,0383~64,153	39,280	42,972	42,762
	40ft輸出	60445,~96,093	58,793	64,453	64,139
	20ft輸入	4,0383~64,153	39,280	42,972	42,762
	40ft輸入	60445,~96,093	58,793	64,453	64,139
海上輸送費用 (千円/年)	20ft輸出	642,768	561,314	153,029	152,282
	40ft輸出	1,154,982	1,008,187	275,432	274,090
	20ft輸入	1,169,381	1,021,192	208,903	207,882
	40ft輸入	2,101,247	1,834,184	375,996	374,164
	小計	5,068,378	4,424,878	1,013,360	1,008,418
海上輸送費用削減便益(計)		-643,500		-4,942	

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

【輸送時間費用(海上+陸上)-1】

項目		北米航路		豪州航路	
		With時 (夢洲地区)	Without時 (名古屋港)	With時 (夢洲地区)	Without時 (四日市港)
コンテナ取扱個数(個/年)	20ft輸出	14,290	14,290	3,561	3,561
	40ft輸出	17,148	17,148	4,273	4,273
	20ft輸入	25,998	25,998	4,861	4,861
	40ft輸入	31,197	31,197	5,834	5,834
輸送時間(時間)		288~536	280~283	273~275	272~276
時間費用原単位 (円/h/個)	20ft輸出	2,200	2,200	1,600	1,600
	40ft輸出	3,300	3,300	2,300	2,300
	20ft輸入	1,900	1,900	1,200	1,200
	40ft輸入	2,900	2,900	1,800	1,800
輸送時間費用 (千円/年)	20ft輸出	9,051,476	8,843,000	1,555,933	1,557,092
	40ft輸出	16,292,656	15,917,400	2,683,985	2,685,984
	20ft輸入	14,218,720	13,896,962	1,591,213	1,593,476
	40ft輸入	26,042,708	25,453,384	2,864,183	2,868,257
	小計	65,605,560	64,110,746	8,695,314	8,704,808
輸送時間費用削減便益(計)		-1,494,814		9,494	

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

【陸上輸送費用-2】

項 目		東南アジア航路		近海航路	
		With時 (夢洲地区)	Without時 (四日市港)	With時 (夢洲地区)	Without時 (堺泉北港他)
コンテナ取扱個数(個/年)	20ft輸出	98,196	98,196	48,386	48,386
	40ft輸出	117,835	117,835	58,064	58,064
	20ft輸入	103,715	103,715	106,379	106,379
	40ft輸入	124,458	124,458	127,655	127,655
輸送距離(km)		16~169	92~276	16~169	15~276
1個当たり陸上輸送費用(円/個)	20ft輸出	36,175~141,638	101,558~201,986	36,175~141,638	36,243~201,986
	40ft輸出	55,735~205,908	150,908~287,516	55,735~205,908	55,803~287,516
	20ft輸入	36,175~141,638	101,558~201,986	36,175~141,638	36,243~201,986
	40ft輸入	55,735~205,908	150,908~287,516	55,735~205,908	55,803~287,516
陸上輸送費用(千円/年)	20ft輸出	4,939,586	13,337,399	2,538,526	6,224,461
	40ft輸出	9,058,169	23,248,336	4,653,907	10,880,688
	20ft輸入	5,096,903	13,701,129	5,411,518	13,618,949
	40ft輸入	9,395,204	23,925,972	9,944,926	23,813,806
	小計	28,489,862	74,212,836	22,548,876	54,537,903
陸上輸送費用削減便益(計)		45,722,974		31,989,027	

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

【海上輸送費用-2】

項 目		東南アジア航路		近海航路	
		With時 (夢洲地区)	Without時 (四日市港)	With時 (夢洲地区)	Without時 (堺泉北港他)
コンテナ取扱個数(個/年)	20ft輸出	98,196	98,196	48,386	48,386
	40ft輸出	117,835	117,835	58,064	58,064
	20ft輸入	103,715	103,715	106,379	106,379
	40ft輸入	124,458	124,458	127,655	127,655
輸送距離(海里)		2,697	2,791	776	776~921
1個当たり海上輸送費用(円/個)	20ft輸出	35,265	36,376	17,284	17,284~19,682
	40ft輸出	52,831	54,494	25,931	25,931~29,528
	20ft輸入	35,265	36,376	17,284	17,284~19,682
	40ft輸入	52,831	54,494	25,931	25,931~29,528
海上輸送費用(千円/年)	20ft輸出	3,462,878	3,571,973	836,309	946,338
	40ft輸出	6,225,344	6,421,304	1,505,646	1,703,699
	20ft輸入	3,657,519	3,772,747	1,838,654	2,080,487
	40ft輸入	6,575,258	6,782,233	3,310,216	3,745,514
	小計	19,920,999	20,548,257	7,490,825	8,476,039
海上輸送費用削減便益(計)		627,257		985,214	

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

【輸送時間費用(海上+陸上)-2】

項目		東南アジア航路		近海航路	
		With時 (夢洲地区)	Without時 (四日市港)	With時 (夢洲地区)	Without時 (堺泉北港他)
コンテナ取扱個数(個/年)	20ft輸出	98,196	98,196	48,386	48,386
	40ft輸出	117,835	117,835	58,064	58,064
	20ft輸入	103,715	103,715	106,379	106,379
	40ft輸入	124,458	124,458	127,655	127,655
輸送時間(時間)		185~188	193~196	60~63	60~76
時間費用原単位 (円/h/個)	20ft輸出	1,600	1,600	1,600	1,600
	40ft輸出	2,300	2,300	2,300	2,300
	20ft輸入	1,200	1,200	1,200	1,200
	40ft輸入	1,800	1,800	1,800	1,800
輸送時間費用 (千円/年)	20ft輸出	29,115,282	30,387,858	4,668,749	5,602,793
	40ft輸出	50,223,862	52,419,054	8,053,591	9,664,818
	20ft輸入	23,059,407	24,062,687	7,694,509	9,235,996
	40ft輸入	41,506,932	43,312,837	13,850,117	16,624,792
	小計	143,905,482	150,182,436	34,266,966	41,128,399
輸送時間費用削減便益(計)		6,276,954		6,861,433	

※四捨五入の関係により合計値は必ずしも一致しない

耐震強化岸壁の整備に伴う陸上輸送コスト削減便益額 合計(百万円/年)	102,913
------------------------------------	---------

(地震発生確率考慮前)

〔自動車交通円滑化効果便益〕

【資料3-8】

臨港道路の整備により、交通ネットワークにおける輸送費用、輸送時間費用及び交通事故損失額の軽減効果を算出する。

本プロジェクトの実施により、4.4億円/年の自動車交通円滑化効果便益が発現する。

【輸送費用便益】

項目	without時	with時
区間距離(km)	57,069	57,069
交通量(台/日)	32,312	34,963
平均走行速度(km/時)	30.5	33.0
総走行台キロ(千台・km/日)	274,295	274,307
輸送費用原単位(円/台・km)	9~134	9~134
輸送費用(百万円/年)	2,429,170	2,429,140
	30	

※上記は全リンク分の合算値で示しているが、検討に当たっては対象となるリンク、車種別に計算を行っているため、計算式に一致しない。

【輸送時間費用便益】

項目	without時	with時
区間距離(km)	57,069	57,069
交通量(台/日)	32,312	34,963
平均走行速度(km/時)	30.5	33.0
総走行台キロ(千台・km/日)	274,295	274,307
輸送時間原単位(円/台・分)	45~63	45~63
輸送時間費用(百万円/年)	7,908,762	7,908,368
	394	

※上記は全リンク分の合算値で示しているが、検討に当たっては対象となるリンク、車種別に計算を行っているため、計算式に一致しない。

【交通事故損失額削減便益】

項目	without時	with時
区間距離(km)	57,069	57,069
係数1	350~2,120	350~2,120
係数2	490~650	490~650
交通量(台/日)	32,312	34,963
総走行台キロ(千台・km/日)	274,295	274,307
総通過交差点数(千台・箇所/日)	539,755	539,740
交通事故の社会的損失額(百万円/年)	631,199	631,183
	16	

※上記は全リンク分の合算値で示しているが、検討に当たっては対象となるリンク、車種別に計算を行っているため、計算式に一致しない。

〔残存価値〕

プロジェクトの供用期間（50年）の終了とともに、その時点で残った資産は精算されると仮定する。本プロジェクトにおいて残存価値を計上できる土地、荷役機械および航路等の水域施設の残存価値を算出する。本プロジェクトの供用期間の終了と共に870億円の残存価値が発生する。

項目		With時	Without時
ふ頭用地	建設用地面積(m ²)	644,500	-
	地価単価(円/m ²)	78,000	-
	残存価値(百万円)	50,271	-
臨港道路	道路用地(m ²)	133,877	-
	地価単価(円/m ²)	78,000	-
	残存価値(百万円)	10,442	-
荷役機械A (耐用年数25年)	再投資からの経過年数	6	-
	更新費用(百万円)	1,636	-
	残存価値(百万円)	1,119	-
荷役機械B (耐用年数25年)	再投資からの経過年数	5	-
	更新費用(百万円)	818	-
	残存価値(百万円)	589	-
荷役機械C (耐用年数15年)	再投資からの経過年数	13	-
	更新費用(百万円)	595	-
	残存価値(百万円)	71	-
荷役機械D (耐用年数15年)	再投資からの経過年数	12	-
	更新費用(百万円)	953	-
	残存価値(百万円)	171	-

項目		With時	Without時
荷役機械E (耐用年数25年)	再投資からの経過年数	14	-
	更新費用(百万円)	1,736	-
	残存価値(百万円)	688	-
荷役機械F (耐用年数15年)	再投資からの経過年数	4	-
	更新費用(百万円)	834	-
	残存価値(百万円)	550	-
荷役機械G (耐用年数15年)	再投資からの経過年数	13	-
	更新費用(百万円)	357	-
	残存価値(百万円)	43	-
荷役機械H (耐用年数25年)	再投資からの経過年数	14	-
	更新費用(百万円)	1,736	-
	残存価値(百万円)	688	-
荷役機械I (耐用年数25年)	再投資からの経過年数	5	-
	更新費用(百万円)	868	-
	残存価値(百万円)	625	-
荷役機械J (耐用年数15年)	再投資からの経過年数	4	-
	更新費用(百万円)	476	-
	残存価値(百万円)	314	-
荷役機械K (耐用年数15年)	再投資からの経過年数	0	-
	更新費用(百万円)	357	-
	残存価値(百万円)	322	-
荷役機械L (耐用年数15年)	再投資からの経過年数	13	-
	更新費用(百万円)	357	-
	残存価値(百万円)	43	-
荷役機械M (耐用年数25年)	再投資からの経過年数	22	-
	更新費用(百万円)	1,065	-
	残存価値(百万円)	115	-
水域施設A (耐用年数50年)	所得費(事業費)(百万円)	6,081	-
	残存割合	10.0%	-
	残存価値(百万円)	608	-
水域施設B (耐用年数50年)	所得費(事業費)(百万円)	5,056	-
	残存割合	10.0%	-
	残存価値(百万円)	506	-
水域施設C (耐用年数50年)	所得費(事業費)(百万円)	75,148	-
	残存割合	26.2%	-
	残存価値(百万円)	19,689	-
水域施設D (耐用年数50年)	所得費(事業費)(百万円)	646	-
	残存割合	20.8%	-
	残存価値(百万円)	134	-
残存価値 合計(億円)		870	-

北港南地区 国際海上コンテナターミナル整備事業

(1) 事業費

項目		数量	全体事業費（億円）
工事費			1,345
岸壁（-15～-16m）（耐震）			493
	地盤改良工	1 式	250
	基礎工	1350m	36
	本体工	1350m	155
	上部工	1350m	18
	舗装工	1 式	10
	附属工	1 式	22
航路（-15～-16m）			566
	浚渫工	4,250千㎡	566
航路・泊地（-16m）			54
	浚渫工	739千㎡	54
泊地(-15m)			19
	浚渫工	139千㎡	19
泊地(-16m)			6
	浚渫工	37千㎡	6
荷さばき地			207
	地盤改良工	1 式	207
間接経費			458
合計（税込）			1,803

※1 港湾請負工事積算基準及び類似事業箇所の実績より算出している。

※2 各項目の事業費については表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

(2) 管理運営費

項目		数量	全体事業費（億円/年）
管理運営費		1式	4

※港湾管理者へのヒアリングにより算出している。

大港湾第 222 号
令和2年5月21日

国土交通省近畿地方整備局長
井上 智夫 様

大阪市長 松井 一郎



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

令和2年5月7日付け国近整企画第8号で照会のありました標題の件について、別紙のとおり回答します。

担当 〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC ITM棟10階
大阪市港湾局総務部総務課(企画グループ)
電話番号 06-6615-7709
FAX 番号 06-6615-7719

(別紙)

大阪港北港南地区国際海上コンテナターミナル整備事業は、国際コンテナ戦略港湾の選定を受けた大阪港においては重要な事業であり、事業継続が妥当と考えます。

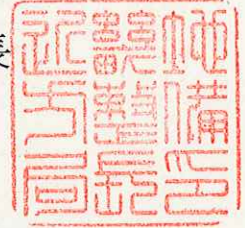
今後の事業実施にあたっては、十分な予算を確保し速やかな事業進捗を図るとともに、引き続き、最大限のコスト削減と工期短縮の徹底や残事業の精査をお願いします。



国近整企画第8号
令和2年5月7日

大阪市長 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、令和2年5月29日(金)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、令和2年5月21日(木)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・お問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(別紙)

(再評価)

【港湾整備事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
大阪港北港南地区国際海上コンテナターミナル整備事業	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

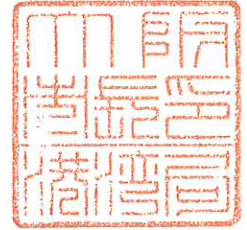
大港湾第 222 号

令和2年5月21日

国土交通省近畿地方整備局長

井上 智夫 様

大阪市長 松井 一郎



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針

(原案) の作成に係る意見照会について (回答)

令和2年5月7日付け国近整企画第8号で照会のありました標題の件について、別紙のとおり回答します。

担当 〒559-0034 大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATC ITM 棟 10 階

大阪市港湾局総務部総務課 (企画グループ) 青山・畠山

電話番号 06-6615-7709

FAX 番号 06-6615-7719

メールアドレス na0029@city.osaka.lg.jp

(別紙)

大阪港北港南地区国際海上コンテナターミナル整備事業は、国際コンテナ戦略港湾の選定を受けた大阪港においては重要な事業であり、事業継続が妥当と考えます。

今後の事業実施にあたっては、十分な予算を確保し速やかな事業進捗を図るとともに、引き続き、最大限のコスト縮減と工期短縮の徹底や残事業の精査をお願いします。

